

九三二一 土シリア國境閉鎖

トルコとシリア間の國境は過去十日間に亘り閉鎖されて居り英國出先官憲は目下西亞に於て行はれてゐる反樞軸陸軍合同演習を理由にトルコ

(六〇九七)

向旅券査證の發行を拒絶してゐる

九三二二 パレスチナ郵政長官暗殺

パレスチナ郵政長官英人ロビンソンはハイファの郵政局内に於てユダヤ人の爲に暗殺された

(九二二三)

九三二三 日本クロアチア協會設立

クロアチア國アグラムに設立された日本クロアチア協會の發會式が舉行せられ大島駐獨大使は同協會長ミル・ブダツク博士と祝電を交

換した

(八一八〇)

三月八日 水曜日

補遺 九三二四 我軍英印軍に對し攻撃開始 ビルマ方面の我部隊は印度國民軍と協

力チン丘國 OCHA HILLS 附近の英印軍に對し攻撃を開始した (九一九〇)

××

××

××

××

三月十四日 火曜日

九三二五 我陸軍航空部隊在支敵飛行場襲撃 我陸軍航空部隊は不明衡陽、遂川、桂

林、肇慶、梧州の敵五大前進飛行場を連續奇襲し敵軍事施設を爆撃すると共に地上
にあつた敵後八機を炎上せしめ全機歸還した (九二九一)

九三二六 ロンドン空襲 獨軍當局の言明に依れば強力な獨空軍編隊は夜英本土兩岸

に侵入月明を利し午後十一時頃からロンドン爆撃が開始され数千の焼弾焼夷弾が投
下されたが其中には最大型焼弾も使用せられた (九二九二)

九三二七 獨空軍ナポリ襲撃 獨空軍爆撃機隊は夜ナポリを爆撃し鐵道車輛百輛以上

を破壊した

(九三二六)

(224)

九三二八 獨軍ヘルソン撤退

獨總統大本營はドニエプル下流のヘルソン地區に於る

獨軍はヘルソン市から撤退した旨發表した

(九二七七)

九三二九 ローマ空襲

反樞軸空軍は有力なる編隊を以て前後三回に亘りローマ市を

盲爆し市民間に多数の死傷者を生ぜしめた

(九二九三)

九三三〇 ガイダ元主筆爆死

元シヨルナーレ・デ・イタリア *Giornale d'Italia*

紙主筆ヴィルチニオ・ガイダ *Virginio Gayda* は反樞軸空軍のローマ爆撃に當り邸

宅を破壊され壓死を遂げた

(九三二九)

九三三一 米潜水艦喪失

米海軍省は潜水艦コルウイナ號 *Corvina* 千五百二十五噸を

喪失した旨發表した

(九〇二六)

九三三二 米驅逐艦進水

米驅逐艦ホーター號がシヤトルの造船所に於て進水した

(九二〇九)

九三三三

米海軍擴張計畫に關する海軍長官の言明 米海軍長官ノツクスは記者會見

に於て、一九四二年一月一日現在の米海軍總艇數は九百十三隻だつたが本年一月一日には四千百六十七隻に増加した、海軍の擴張は今後依然として變らない、海軍兵力の補充目標は本年末迄に約三百萬名であるが此目標達成には今後五十萬の新兵力が必要である旨を述べた

(九二四八)

九三三四 米陸軍飛行士訓練期間延長

米陸軍航空訓練司令部の發表に依れば戰闘機

操縱士訓練期間は九週間、爆撃機操縱士訓練期間は五週間天々本日より延長せられた

(八六五五)

九三三五 米出征將兵投票法案上院可決

米上院は四十七票對三十一票を以て出征將

兵投票法案を可決した

(九一二六)

九三三六 三箇年間の米飛行機生産高

米戰時生産局次長ワキルソンは、過去三箇年

間に米國で生産した飛行機数は總數十五萬三千六十一機で内十五萬五千二百二十六機は戰闘用機である、一方英國は過去四箇年間に約九萬機を製造したので米英兩國の

生産した飛行機数は合計二十四萬三千餘機に上る旨發表した

(九一九七)

九三三七 米大統領選挙豫備選挙開始

米國大統領選挙豫備選挙がニューハンプンシャ

一州に於て行はれた

(九二〇一)

九三三八 米上院石油問題調査特別委員会設置

米副大統領ウォーレスは上院議長の

資格を以て十一名から成る上院石油問題調査特別委員会を任命した、右委員会は世界石油資源及米國內に於る石油資源濶濶問題の全面的調査を行ひ特に西亞石油資源の開發を調査の中心問題として取上る豫定で委員会の構成は民主黨六名、共和黨四名、進歩黨一名である

(九二三五)

九三三九 米ガソリン割當削減

米物價調整局は、三月二十二日よりガソリン割當切

符A所持者に對する一週間の割當額を從來の三ガロンより二ガロンに削減する、最近ガソリン切符の偽造が激増し桑港では回収切符の一角五分迄が偽造切符であつた、當局は今後斯る不正行爲に對し斷乎たる取締を行ふであらう旨を發表した

(八三五二)

九三四〇 米加共同經濟委員會解散 米政府は米國カナダ兩國政府が兩國共同經濟委員會の解散に同意した旨發表した

九三四一 駐重慶政權加大使信任狀提出 駐重慶政權カナダ公使ウィクター・オドラム並に駐カナダ重慶政權公使劉師舜は夫々初代大使に任命せられオドラム大使は本日蔣介石に信任狀を提出した (八一二三)

九三四二 在芬バドリオ政權公使館閉鎖 フィンランドに於るバドリオ政權公使館は本國政府の訓令に基き閉鎖されることとなりフィンランドに於るバドリオ政權の利益は米國が代表することに決定した (九三一五)

九三四三 重慶政權外交部長及財政部長の昆明視察及米國非の取締方針 重慶政權外交部長宋子文及同財政部長孔祥熙は昆明方面の視察旅行より空路重慶に歸還し、今回の昆明訪問の目的は重大化してゐる同地の物價問題を調査し之が調整を行ふためであつたが同地の物價問題は複雑で今直ちに解決することは到底不可能である旨の談話を發表した

重慶政權放送局發表に依れば財政部長孔祥熙は昆明方面の米國幣の横行を取締る
旨の談話を發表した

(八〇五〇)

九三四四 旅客輸送の制限

決戦非常措置要綱に基く旅客の輸送制限に關する件が閣議に於て決定せられた、右に依り特別急行列車、急行列車、一等車、寢臺車、食堂車等は全廢二等車の連結も縮減せられ百斤以上の長距離旅行には軍人及官公吏の公務旅行は所屬官公衛の證明其他の旅行は警察署の證明を要することとなつた、尙之が實施は急行列車の全廢を除き概ね四月一日の豫定で實施可能のものは四月を待たず實施される筈である

(九二八七)

三月十五日 水曜日

九三四五 我軍チンドウキソ河渡河 竭力なる我部隊は印度國民軍と共にホマリソ(Howari) 附近に於てチンドウキソ河 Chindwin を渡河し緬印國境に向ひ進撃を開始した

(八三二四)

九三四六 ソファイア空襲 プルガリア政府の發表に依れば反艦軸空軍は夜ソファイアに恐

(九三三〇)

九三四七 マウントバツテン、スチルウエル兩將會談 在重慶スチルウエル軍司令部は、東南アジア反艦軸軍司令官マウントバツテンは最近同軍副司令官スチルウエルのレド

公略司令部を訪問し印設況を檢討後共にレド公略方面の前線を観察した、今次會談は六箇月前兩者の策定した作戦計畫の進展狀況に就て協議したものである旨を發表した

(九二四七)

九三四八 米婦人部隊濠洲着 濠洲放送局は米婦人部隊が此程濠洲に到着した旨放送した

(八四三二)

九三四九 米邊に覆着艦護渡 米フロリダ州ミアミの米第七海軍區司令部は、米海軍は來る十七日メキシコ海軍に覆着艦一隻を護渡することとなった、同艦の乗組員は全部

ミアミの海軍通譯學校で訓練を受けたメキシコ海軍將兵となる等である旨發表した

(九二三四)

九三五〇 米動員計畫 米徴兵局は、米國の動員計畫は本年六月末に於て陸軍總兵力を

一千百三十萬とするに於て之がためには今後毎月平均十萬人の壯丁が軍に召集される事となる、此内二十萬乃至二十五萬は緊急軍需産業に従事して従來召集猶豫の特典が與へられてゐた者となるであらう旨を發表した (九三三三)

九三五一 米海軍新兵器豫算 米海軍省は議會に六千五百萬弗の追加豫算を要求した、海軍次官フオレスタルは議會に書翰を送り右豫算は高性能のロケツト砲及或種の秘密兵器の製造に充當されるものなる旨を述べた (九二一七)

九三五二 米出征將兵投票法案下院可決 米下院は二百七十三票對百十一票を以て出征將兵投票法案を可決直ちに白聖館に回付した (九三三五)

九三五三 交換米人ニユイヨク港着 獨米交換船グリツプスホルム號は交換米人六百六十三名を乗せてニユイヨク港に入港した (八九三二)

九三五四 對エアル國境閉鎖に關して英首相下院に於て發言 英首相ヤーマルは下院に於て、英國とエアル間の旅行を禁止したのはエアル政府が態度を改めぬ限り同國を孤立せしめるための第一設の措置であつて米國の要求に基いて行はれたものである旨を聲明した (九三〇七)

九三五五 英經濟戰爭次官日獨連絡に關して言明 英經濟戰爭次官フットは、ドイツの海上封鎖の重要なことは云ふ迄もないがドイツの日本向物資輸送を阻止することは更

に重要で日本が歐洲から工作機械及重機類を入手することだけは全力を要す(見出
しなければならぬ旨言明した (六六四〇)

九三五六 亡命ユーゴースラヴキア國王英帝と會見 亡命ユーゴースラヴキア國王ペタ

ール二世はパツキンガム宮殿に於て英帝ジョージ六世と會見した (九二九九)

九三五七 英ベルファスト造船所機業擴大 英ベルファスト市の造船所機業 (九二九八)

は機業参加者六千名に達した (九三一九)

九三五八 芬ソ聯の休戦提案拒否決定 フィンランド國會は午後秘密會を開きソ聯政府

の休戦協定に關する最終提案を拒否するに決定した (九一四八)

九三五九 羅和平工作説を否定 ルーマニア政府はラドール通信社を通じて反極端論が最

近ルーマニアが和平工作を行つてゐる旨を宣傳してゐるが右は事實無根である旨を發

表した (九二八五)

九三六〇 埃及レバノン通商協定調印 エジプト及レバノン兩國政府間に通商協定が調

印せられた、エジプトからは砂糖及米を輸出する (九二三六)

九三六一 シリア政府サウヂ・アラビアに經濟使節派遣 シリア政府はサウヂ・アラビ

ア政府の招請に依り三名の専門家より成る經濟使節團を來週リヤダに派遣することに

決定した (八一三五)

九三六二 駐滿洲國イタリイ公使館閉館 イタリイ社會主義共和國政府は滿洲國に公使

を開設することとなり本日開館せられた。公使は前駐滿洲國公使ホーイ(251) Hoyer Neyrone である

(七一三八)

九三六三 伊東京に大東亞共和フアシスト監督官本部設置 本日の東京新聞報道に依るに在日イタリイ社會主義共和國代表部は、今回共和フアシスト黨書記長バウオリニから外地フアシスト黨員をイタリイの黨本部直轄下に置くとの通告に接した旨及黨の方針に基き東京に大東亞共和フアシスト監督官本部の設置が指令され在日イタリイ國利益代表プリンチビニ大佐が監督官を委嘱された旨發表した (七五三八)

九三六四 昭和十八年米實收高 昭和十八年に於る米實收高は六千二百八十八萬七千四百十五石である旨農商省から發表せられた (七九七三)

三月十六日 木曜日

九三六五 米機ラパウルに來襲 米機機連合延約百機が登間ラパウルに來襲我所在部隊は之と交戦撤退した、我方輕微な損害を蒙つた (九三〇九)

九三六六 米空軍獨西南部襲撃 獨軍當局の聲明に依れば米空軍爆撃隊は白晝ドイツ西南部のアウグスブルグ及ウルム兩市を攻撃人口稠密な住宅地區を爆撃し市民に相當多数の死傷者を生ぜしめたが獨軍防空陣は敵機發機遅延二十三機機損十機を蒙りしに (九三〇四)

九三六七 ソフイア空襲 反樞軸空軍は夜ソフイアを襲撃約三十分により主として郊外

の住宅地区に焼夷弾が投下された

(九三四六)

九三六八 赤軍の攻撃目標 DNB通信記者ハンメル大佐は、赤軍は再び其攻撃の重點

をウマン西南方に移し同方面に於る有力な獨軍を包圍せんと企圖したやうであるが敵

の企圖は獨軍の漸平たる防戦に依り撃破された、戦線の他の重點はルーツ南方地區

で同方面の赤軍は西方に向つて強引な攻撃を開始したが其目的を達せず戦車二十八を

撃破十三を擧げせしめられた、タルノボリからプロスタロフに至る地域に於る獨軍の

局地的新戦線は順調に進み此方面でも赤軍は戦車多数を喪失した旨を報道した

(九三二八)

九三六九 反樞軸空軍の歐洲大陸投下爆弾高 英空軍省は一九四〇年五月一日から一九

四三年十二月三十一日迄の間に反樞軸空軍が歐洲大陸に投下した爆弾は次の如く二十

四萬六千四百二十五噸に達する旨発表した(單位噸)

ドイツ本國二〇三三〇〇 イタリ一九〇六〇

獨占領地域 三三〇六五

計 二四六四二五

(九一七五)

九三七〇 英軍高射ロケット砲を使用 リスボン發同盟軍に依れが英軍高射砲隊は高射

ロケット砲を使用してゐる

(七三二三)

九三七一 米南太平洋艦隊司令部官任命 米南太平洋艦隊司令部は中將ジョン・ニール

トンが三月六日附を以て司令長官ハルゼーの下に副司令官に任命された旨發表した

(九一六三)

九三七二 反樞軸救済復興會議々長アルジエール着 反樞軸救済復興會議々長レーマン

はカイロへの途次アルジエールに到着した、レーマンは同地に於て、同會議は目下ロ

ンドンに設置されてゐる同會議歐洲支部に就つて東亞にも其支部の設置を考慮してゐる

旨言明した (八九九五)

九三七三 米農産物收穫に女子動員 米戰時人的資源委員会は、農産物收穫期の接近を

控へ鑑詰其他農産物加工の爲政府は七十萬以上の女子を動員する計畫である旨發表し

た (九〇一三)

九三七四 加駐墨大使任命 カナダ・サスカチエワン州法相タールソンが駐メキシコ大

使に任命された (八七一八)

九三七五 墨駐加大使任命 ウルグアイ駐節メキシコ大使デル・リオは駐カナダ大使に

任命された (九三七四)

九三七六 佛ウィーブル紙主筆入閣 フランスのウィーブル紙主筆マルセル・ブリアはフラン

ス内閣に入閣し労働相に就任した (五〇五五)

九三七七

南阿聯邦在野黨領袖獨軍の勝利を希望

南阿聯邦在野黨領袖マラン博士 (M. Lan)

(134)

は議會に於て、ソ聯が勝つて共産主義が全世界を風靡するならば、ドイツの勝利が共産主義の敗北を意味するならば彼は寧ろドイツの勝利を望む旨を述べた(九三二〇)

九三七八

江北地區敵産國民政府に移管

奉天以來我軍管理下に置かれてゐた揚州を中

心とする江北地區所在舊重慶政權系財産の國民政府への移管式が揚州に於て舉行せられた

(八七五一)

九三七九

衆議院本會議再開日決定

衆議院では午後院内に議院協議會を開會二十二日

より二十四日迄の三日間連日本會議を開會今次議會最終の審議を行ふ旨を決定した

(八八四〇)

九三八〇 敵機ラバウルに來襲 米戦闘機及艦載爆撃機約八十機が晝間ラバウルに來襲したが我所在部隊は之と交戦撃退した、我方損害なし (九三六五)

九三八一 ロンドン空襲 反樞軸軍司令部發表に依れば獨空軍爆撃機隊は夜ロンドンを爆撃し損害と死傷者を出さしめた

獨總統大本營發表に依れば獨空軍は夜ロンドン市内の特殊目標を攻撃した

(九三二七)

九三八二 敵機ウキーン地區爆撃 獨總統大本營發表に依れば反樞軸空軍爆撃機隊が晝

ダニューブ河沿岸地域に侵入ウキーン地區に無差別爆撃を加へたが損害は輕微、獨軍

はオーストリア及イタリ上空に於て敵機九機を撃墜した (九三六六)

九三八三 敵機ハンガリーに來襲 ハンガリー政府發表に依れば反樞軸空軍が晝ハンガ

リー領内に侵入爆撃を投下した (九三六七)

九三八四 敵機スロヴァキアに來襲 スロヴァキア軍當局の發表に依れば反樞軸空軍編

隊がスロヴァキア領内に來襲プレスブルグ市近郊を爆撃したが被害はなかつた

(九三八三)

九三八五 米國務長官の米英ロンドン會議に關する發表 米國務長官ハルは、國務次官

ステューニアスの訪英は英政府首腦者達の屢次に亘る訪米に對する答禮の意味も含まれて

居り英政府當局と目下兩國に取り利害關係ある諸般の問題に就て協議するであらうが
其れは飽く迄非公式且つ豫備的なもので正式に協定を協議乃至調印するやうなことは
ない旨を發表した

(一九二三五)

九三八六 米下院ユダヤ人國建設決議案審議中止 米下院外交委員會は陸軍當局の勸告

を容れ審議中のパレスチナに於るユダヤ人王國建設決議案の審議を中止した

(一九二三六)

九三八七 重慶政權米に軍事使節團派遣 廣東發同盟軍に依れば重慶政權は再び軍事使

節團を米國に派遣することとなり國防最高委員會常務委員軍事委員會辦公廳主任蔣慶
を同使節團々長に任命した、尙軍事委員會辦公廳主任後任に憲兵司令官賀國光が任命
された

(一九二四七)

九三八八 濠加相互援助協定調印 濠洲外相エヴァツトは下院に於て、濠洲カナダ兩國

政府間に今國相互援助協定が調印せられた、濠洲は本協定に基きカナダから年額八千
五百萬弗の物資供給を受ける等で其主なるものは自動車、トラツク、彈藥、兵器、飛
行機、同部分品、機械類、原料等である旨發表した

(一九〇三一)

九三八九 亞ルーター通信社に對し電信使用制限 アルゼンチン政府は英國系ルーター

通信社に對しモンテヴィデオとブエノスアイレス間の電信使用を禁止する旨發表した

(一九二八一)

九三九〇 ポリヴェキア外相更迭

Enrique Parativesco

ポリヴェキア社会黨首領エンリケ・バルデイヴェスコ
が同國後任外相に任命された (一九二八一)

九三九一 智海軍最高司令官任命

Hoffman

智利政府はアルフレッド・ホフマン Alfred
Hoffman がチリ海軍最高司令官に任命された旨發表した (八七八二)

九三九二

ソ聯の休戦交渉開始條件に芬拒否回答 ソ聯政府の對フィンランド休戦交渉
開始條件に對するフィンランド政府の拒否回答がストツクホルムに於てソ聯公使コロ
ンタイに手交せられた (九三五八)

九三九三 駐西獨大使西統領會談

スペイン統領フランコ將軍を訪問會談した

スペイン駐劄ドイツ大使ハンス・デューコフは午後
(九二六五)

九三九四 西の政治犯人釋放

許された

政治犯人千九百名がベレス法相の命令に依り保釋出獄を
許された (八六九六)

九三九五 駐英土大使更迭

トルコ政府は駐伊大使ウナイデンを後任駐英大使に任命す
ることに決定し英國政府の同意を求めた

(八三二〇)

九三九六 駐獨土大使離任

到着した

駐獨トルコ大使アリカンはベルリンからイスタンブールに
(八〇四〇)

九三九七

國民總蹶起運動連絡本部委員決定 政府は中央に政府、大政黨會及翼會政
治會を打つて一九二八の國民總蹶起運動(九二八六)連絡本部を設置することとなり

政府側安藤内相以下五名、大政翼賛會側井田馨補男氏以下十四名、翼賛政治會側井上三郎氏以下十四名計三十三名の連絡本部委員が決定發表せられた (九三四四)

九三九八 大東亞戰爭公債發行 大東亞戰爭公債八億圓が預金部及日本銀行引受に依り發行せられた (九〇一一)

三月十八日 土曜日

九三九九 敵機シヤワ島に來襲 朝シヤワ島東端方面に米機B24十二機が來襲我所在部隊は之と交戦撃退した、我方の損害輕微 (八四九九)

九四〇〇 米機ウオツゼ島に來襲 朝敵中型小型機十三機がマーシャル諸島ウオツゼ島に來襲所在の我部隊は之と交戦一機を墜破して撃退した、我方に損害なし (九二八九)

九四〇一 敵機漢口上流に來襲 午前漢口上流白蠟磯に敵機爆連合十六機が來襲我艦艇部隊は之と交戦其二機に火災を生ぜしめて撃退した、我方に損害なし (九二五七)

九四〇二 米機獨南邵諸都市に來襲 獨軍當局の言明に依れば米軍爆撃機隊は白晝ドイツ南邵諸都市に來襲住宅街を盲爆したが獨空軍戦闘機隊はドイツ南邵及西南邵の一萬米の高空で空中戦を交へ敵四發爆撃機少くも四十機戦闘機多數を墜した (九三八二)

九四〇三 獨軍ヤンポリ市撤退 獨軍當局の言明に依れば南部戦線の獨軍は激戦の後ヤ

ンポリ市を撤退した (九三二八)

九四〇四 米二潜水艦喪失 米海軍省は米潜水艦ケーブリン及スカルピン Sculpin

千四百五十噸の二隻を最近太平洋戦域に於て喪失した旨発表した (九三三一)

九四〇五 英驅逐艦喪失 英海軍省は驅逐艦マーラツタ Marnet 號を喪失した旨發表

した (九一三九)

九四〇六 英議會使節團を濠洲に派遣 英國議會は濠洲に議員使節團を派遣することに

なつた旨發表した

九四〇七 亞ユービー通信社の國內通信施設閉鎖 アルゼンチン政府は違法行爲を理由

に米國ユナイテッド・プレス通信社の國內通信全施設の閉鎖を命じた

(九三八九)

九四〇八 バドリオ改權駐亞大使任命 伊バドリオ改權はルイギ・ヴヤンチ Luigi Vinci

を駐アルゼンチン大使に任命した旨發表した (九三四二)

九四〇九 勤勞昂揚方策要綱及女子挺身隊制度強化方策要綱 勤勞昂揚方策要綱に女

子挺身隊制度強化方策要綱が閣議に於て決定せられた、右に依り女子挺身隊加入年齢

は現行の十四歳以上二十五歳未満の未婚者が十二歳以上四十歳未満の無配偶者に擴大

せられ勤員期間は差當り一年とし従業前に豫備訓練が行はれることとなつた

(一九三九七)

九四一〇 日本銀行總裁更迭

結城豊太郎氏は日本銀行總裁を依願被免同行副總裁澁澤

敬三氏が後任日本銀行總裁を仰付られた

(二五〇一)

三月十九日 日曜日

九四一 敵海空軍ミレ島に來襲 未明から朝に亘り敵艦六隻及各種飛行機延百二十機がマーシャル諸島ミレ島に來襲所在の我部隊は奮戦其十二機を撃墜した、我方にも輕微な損害があつた (九四〇〇)

九四一二 獨機ハル港爆撃 獨總統大本營發表に依れば獨空軍は英東岸ハル港を襲撃多數の高性能爆弾及焼夷彈を投下目標地區に於て大破壊及廣範圍の地域に亘り火災を生ぜしめた (九三八一)

九四一三 米機獨東南部に來襲 獨總統大本營發表に依れば米空軍爆撃機隊は少數の編隊を以て祖界不良を利し數方面からドイツ東南部に侵入數箇所には爆弾及焼夷彈を投下したが損害輕微獨軍は四發爆撃機二十四機を含み二十五機を撃墜した (九四〇二)

九四一四 ローマ空襲 反福軸空軍はローマに來襲人口稠密な住宅地區イタリ―街其他を爆撃死者百名以上を出した (九三八四)

九四一五 米船進水 米一萬噸級巡洋艦デイトン號 Dayton がキヤムデンのニューヨーク造船會社の造船所に於て進水した (九三三二)

九四一六 英の租賃法に依る輸入物資再輸出説に關し米政府當局聲明 米國長官ハル波に外國經濟院長クローリーは、英政府が一九四一年九月十日の白書を取消し自國の輸出業者に租賃法に基き受取つた商品物資乃至同様の資財を商業上の貿易に利用する目

由を與へるに決定した旨が最近新聞紙に依り報道されてゐるが右は事實無根である旨
の共同聲明を發表した

(八七五六)

九四一七 佛解放委員會特使モスクワ着 佛解放委員會發表に依れば同委員會特使ビエ
ール・ヨツトは朝空路モスクワに到着した

(九一四九)

三月二十日 月曜日

九四一八 米機ヤルト及タロワ兩島に來襲 早朝敵戦機十一機がマーシャル諸島ヤル
ート島に來襲、更に同時刻タロワ島に敵爆撃機九機が來襲したが我守備部隊は之と交
戦撃退した・我方に損害なし

(九四一一)

九四一九 獨軍ブグ河畔に於て離脱作戰停止 獨軍當局は南部地區の戦局は過去數日間
非常な危機にあつたが現在では若干平靜化した、ブグ河上流及下流に於て獨軍は離脱
作戰を停止した旨言明した

(九四〇三)

九四二〇 ドーヴァー海峡砲撃戦 ドーヴァー海峡に面する獨軍長距離砲隊は午前十時
より一時間に亘り同海峡を通過する獨護送船團掩護のため英長距離砲隊と砲撃戦を交
へ獨護送船團を攻撃せんとした英快速艇隊と砲撃し五隻に命中弾を與へ内一隻を炎上
せしめ護送船團は輕微な損害を蒙つたのみで豫定時間目的地に到着した

(九四一三)

九四二一 米機獨マイン河畔に來襲 米空軍司令部發表に依れば米空軍重爆撃機二百五十機乃至五百機より成る編隊は戦闘機の直轄下に白晝マイン河畔フランクフルト市の軍專目標を密雲の上より爆撃した、米軍は右空襲に於て爆撃機戦闘機各八機を喪失した

獨軍當局の發表に依れば獨軍防空陣はドイツ南部に來襲せる米英空軍を邀撃其二十四機を撃墜した (九四一三)

九四二二 獨軍ウキニツツア市撤退 獨軍當局は東部戦線の獨軍がブダ河岸の要衝ウキニツツア市から撤退した旨發表した (九四一九)

九四二三 米艦撃沈 米海軍省は護送艦逐艦レオポルド Leopold 號千三百噸が大西洋で撃沈された旨發表した (九四〇四)

九四二四 米艦進水 米快速艦ロレーン號が進水した (九四一五)

九四二五 英東岸への旅行禁止 英陸相ブリツタは英國東岸約六千平方哩の地域への一般市民の旅行を四月一日以降一切禁止する旨の緊急令を公布した (六五三五)

九四二六 米下院委員會英の歐洲水域海上封鎖撤廢要求決議案可決 米下院外交委員會は英國の歐洲水域に於る海上封鎖の撤廢を要求する決議案を可決した

九四二七 ソ聯紙のローマ法王暴彈効に對し紐育州議會遺憾決議 ソ聯政府機關紙イズヴェスチア Izvestia が追殺ローマ法王應を編アアシスト的であると彈効したのに

對しニューヨーク州議會上院は滿場一致を以て同紙の主張を遺憾とする旨の決議案を採擇した

九四二八 米大統領出征將兵投票法案に對する州知事の意見聴取 米白墨館當局は、口大統領は全米四十八州知事に通牒し出征將兵投票法案に對する意見を求めたるに現在迄に四十二州から回答を寄せたが賛否は略相半する状態である旨發表した

(九三五二)

九四二九 加軍司令官任命 イタリ―戦線に出動してゐるカナダ第一兵團長陸軍中將へ

ソリ―・クレラーはカナダ第一軍司令官に任命せられた

(九〇八四)

九四三〇 獨總統洪議政會談 ヒットラー總統は總統大本營に於てハンガリ―議政ホル

テイ提督並にハンガリ―軍司令官と會談した

(三二七六)

九四三一 獨土通商補足協定調印 ドイツとトルコ兩國政府間に通商條約の補足協定が

調印せられ今後トルコ政府は年額一千四百萬トルコ磅に相當する鹽漬魚及煙草を輸出

(五一三〇)

九四三二 佛解放委員會シリアに判檢事任命權賦與 シリア法相タイジャリは、佛解放

委員會との協定に基き今後歐洲人のみに關する場合及歐洲人とシリア人とを含む場合の混合裁判にシリア司法省が判事及檢事を任命する權限が賦與された旨發表した

(八一三五)

九四三三

元佛内相銃殺さる

元佛ヴィーシー政府内相ピエール・ブシュー Pierre

(240)

Puchen

は佛解放委員會特別軍法會議に於て死刑を宣告され本日銃刑に處せられた

九四三四

亡命ユーゴスラヴィア國王の結婚

亡命ユーゴスラヴィア國王ベタール

二世とギリシヤのアレクサンドリア

Alexandra

王女の結婚式がロンドンに於て

英帝ジョージ六世立に亡命ギリシヤ國王ゲオルゴス二世立會の下に舉行せられた

(九三五六)

二月十一日 金曜日

補遺

九四三五

ソ加武器供給協定調印

タス通信社の發表に依ればカナダ蘇聯兩國政

府間に對シ武器供給に關する協定が調印せられた

(八七三五)

三月十五日 水曜日

補遺

九四三六

スチルウエル東南アジア反樞軸軍副司令官に就任

東南アジア反樞軸

軍司令部發表に依れば、印緬支派遣米軍司令官スチルウエルは東南アジア反樞軸副司令官に就任することを承諾した

(九三四七)

三月十六日 木曜日

補遺

九四三七

南阿聯邦の戦費負擔狀況

南阿聯邦首相スマツツは聯邦議會に於て、

南阿聯邦はエチオピア及西阿兩作戦の戦費負擔額最終拂込分三千二百萬鎊を近く英政府に支拂ふこととなつてゐる、南阿聯邦は北阿に歐州人部隊だけでも五萬五千名を派遣して居り之等部隊並に土民軍を維持する爲毎月百萬鎊を英政府

に支拂つてゐる旨を述べた

(九三七七)

(247)

三月十七日 金曜日

補遺

九四三八

亞メネンデス將軍を逮捕

アルゼンチン政府は極端な國家主義者とし

て知られるベンハミン・メネンデス將軍を逮捕した

(九三八九)

補遺

九四三九

電力の臨時消費制限解除

軍需省は湯水期に對處し重要産業に對する

電力の供給を確保する爲二月十八日より一箇月の豫定を以て第三種需用電力等の制限強化方針要綱に基き住宅用及營業用電燈電力の三割節約を實施したが相當の成果を擧げて豫定の一箇月を繰返したので右消費況正を廢除することとなり此旨軍需省から發表せられた

(八三五五)

三月十八日 土曜日

補遺

九四四〇

南阿聯邦首相英に代償要求

南阿聯邦首相スマツツは下院に於て、南

阿聯邦の間に狹まれて聯邦に所屬しない小さな領土が編在してゐる、今度の戦争ではアフリカ大陸は最も困難な情況下に其任務を果してゐるので獨り南阿聯邦のみでなくアフリカ全盤が何等かの代償を要求して差支ないと思ふ旨を述べた

(九四三七)

補遺 九四四一 エチプトに共産黨結成さる
ストツクホルム發同盟電に依ればエチブ
トに最近共産黨が結成せられた
(九三六〇)

三月十九日 日曜日

補遺 九四四二 敵機北千島に來襲 十六日より本日迄の四日間に亘り夜間敵機數機北
千島に飛來爆彈及照明彈を投下した、我方に損害なし (九二二八)

三月二十日 月曜日

補遺 九四四三 敵海空軍カビエンに來襲 敵戰爆連合延二十二機並に艦艇數隻が朝二
ユーアイルランド島カビエンに來襲所在の我部隊は之を返撃敵艦一隻に命中彈
を與へ撃退した、我方被害輕微 (九三八〇)

× × × × × ×

三月二十一日 火曜日

九四四四 敵機ラバウルに來襲 敵戰爆連合延約百六十機が晝間ラバウルに來襲我所
部隊は之を返撃戰爆計五機を撃墜爆撃機一機を撃破した、我方の損害輕微 (九四四三)

九四四五 敵機ヤルト島に來襲 朝敵爆撃機25十四機がマーシャル諸島ヤルト島

に來襲我所在部隊は之と交戦撃退した、我方の損害輕微 (九四一八)

九四四六 ロンドン空襲 獨軍當局の言明に依れば獨空軍爆撃機隊は夜ロンドン市を襲

撃特にシテイ地區を攻撃目標として計畫通の爆撃を完遂し同地區數箇所到大火災を發

生せしめた (九四一二)

九四四七 獨軍ジユメリンカ撤退 獨軍當局の言明に依れば東部戰線南部地區の獨軍は

早朝ウチニツツア西南の要衝ジユメリンカから撤退した (九四二二)

九四四八 米第七軍司令官更迭 米陸軍省は少將アレクサンダー・パツテが中將パツト

ンに代り伊戰線に在る米第七軍司令官に任命された旨發表した (九三七一)

九四四九 米國務長官米首腦部會議開催 米國務長官ハルは午後國務省に閣僚並に陸海

軍首腦部會議を開催した (九三八五)

九四五〇 一九四四年の米國農作豫想 米國農務省は三月一日現在の作付成績に基き、

一九四四年の各種農作は政府の豫想計畫に到達しない見込強くと特に小麦は一九三九年

以來の大減收となるかも知れない、現在の見透では本年の作付面積は三億七千四百萬

エーカーとなるべく昨年の三億六千五百萬エーカーに比し相當の増加であるが政府の計

畫たる三億八千萬エーカーに及ばない旨を發表した (八七二七)

九四五一 芬ソ兩國政府兩國間の休戦交渉の經過發表 フィンランド及ソ聯兩國政府は

兩國間に於る休戦交渉の経過を發表した

(九三九二)

九四五二 英ヨーク州炭坑夫罷業開始

ヨーク州南部の炭坑夫一萬四千五百名は罷業を

開始した

(九三五七)

九四五三 獨クロアチア經濟會議終結

ドイツ及クロアチア兩國政府は、兩國政府代表

は協力的雰囲気の中に經濟的諸問題に就て折衝を續け物資交換に關する諸案件に關し
完全に意見の一致を見た、或種の特別問題に關する協議は更に四月下旬ベルリンで行
はれる旨の共同聲明を發表した

(九一四七)

九四五四 土駐英大使任命

トルコ政府は前駐伊大使セフ・エシユレンを駐英大使に任

命した

(九三九五)

三月二十二日 水曜日

九四五五 米機ラバウルに來襲

米機戦爆連合延約百八十機が畫同ラバウルに來襲所を

我部隊は之と交戦艦載爆撃機四機を撃墜した、我方地上に於て若干の損害を蒙つた

(九四四四)

九四五六 ロンドン空襲

獨軍當局の言明に依れば獨空軍の有力なる重爆撃機編隊は二

十一日夜半ドーヴァー海峡を横斷本日午前一時頃ロンドン市上空に到達多数の爆弾並
に焼夷弾を投下した

(九四四六)

九四五七 ベルリン空襲

米軍航空部隊司令部發表に依れば米空軍重爆撃機約五百機か

ら七百五十機より成る編隊は長距離戦闘機數百機の直衛下に白晝ベルリン地區を三回
に亘つて爆撃軍需工場を目標に約千五百噸の爆弾を投下した

獨總統大本營發表に依れば米空軍は密雲を利用してベルリンを攻撃目標を見定めるこ
とが出来ず住宅地區に焼夷彈を投下したが獨軍防空陣は四發爆撃機十三機を含み十九
機墜した、英空軍も亦夜ライン及マイン地區に來襲したが獨空軍夜間戦闘機竝に高
射砲隊は敵四發爆撃機五十五機を撃墜した (九四二一)

九四五八 獨軍ハンガリーに進駐

ハンガリー政府は午後、相互的諒解の結果獨軍

は三國同盟に依り結ばれた歐洲各國の共同戦争遂行のため特に一切の力を動員して效
果的にボルシエヴキズムと抗争し且つ廣汎な安全保障の確立を強化する見地から共同
の敵に對しハンガリー國を支援するためハンガリー國內に到着した、攝政ホルテイ提
督の委囑に依り前内閣總辭職の後を承け前駐獨公使デーメ・ストヤイ Doeme Sztójay
を首班とする後繼内閣が組織せられた、ハンガリー及ドイツ兩國政府は今回の措置が
古い友情と戦友精神に基き共同の最後の勝利を収める爲ハンガリー國內の全資源動員
に資すべしとに關し意見が一致した旨を發表した (八九一五)

九四五九 駐洪獨公使更迭

獨政府はヒットラー總統がリツベントロツプ外相の進言に

基きエドモンド・ヴエツセンマイヤー博士を駐ハンガリー公使に任命した旨發表した
(九四五八)

九四六〇 米潜水艦喪失

米海軍省は潜水艦スコロピオン號が撃沈された旨發表した
(九四二三)

九四六一 米航空兵員の訓練縮少

米陸軍參謀總長マーシャルは、陸軍航空部隊兵力は各戦線に於る航空兵員の損害が豫想以下に止まつたため既に十分な状態となり操縦士訓練計畫に編入されることとなつてゐた三萬六千の壯丁は他の兵種に充當されることとなつた、一方十七歳の男子の航空隊への志願編入も一時停止することとなつた旨發表した
(九三三四)

九四六二 米大統領選舉に關する輿論調査

リスボン發同盟電に依れば米誌フォーチュンが最近今秋の大統領選舉に關し諸種の質問の下に全國に亘り輿論を調査した所左記の如き結果を得た

「今度の大統領選舉に於て民主黨及共和黨兩黨の何れに投票するか」

民主黨	四一・六%	共和黨	三二・八%
其他	〇・五%	解答不能	二五・一%
「ロースヴェルト及共和黨候補の誰かの何れに投票するか」		共和黨候補	三〇・三%
ロースヴェルト	五七・八%		
解答不能	一一・九%		

共和黨内に於て誰を候補に指名するか

一月一日

二月十五日

デューイー	二九・六%	三六・九%
ウキルキ	二二・六%	一九・六%
マッカーサー	五・八%	八・五%
ブリツカー	三・四%	六・二%
スタツセン	一・三%	二・三%
タフト	〇・八%	一・一%
其他	三・三%	二・五%
解答不能	三三・六%	二二・九%

(七九五)

九四六三 駐西伯大使信任狀捧呈、スペイン駐劄ブラジル大使ブランドオはスペイン

九四六四 統領フランコ將軍に信任狀を捧呈した

九四六四 佛解放委員會女子參政權承認

佛解放委員會は本日の會議に於て全會一致女子參政權案を可決した

(九四三三)

九四六五 第八十四議會再開

東條首相は午後一時五分再開の衆議院本會議に於て議會

休會中に於る内外諸情勢の變貌に就て演説を行ひ其中に於て、スパス・チャンドラ・

ボース首班の指揮する印度國民軍は皇軍の協力下に待望の祖國進軍を開始した、番國

の印度に期する所は敵勢力を擊摧し印度を完全に印度人の手に委ねんとするに在り從

つて國民軍の進撃する祖國印度の地は悉く自由印度假政府の行政下に置かるべきは素

よりである旨を述べた

(九三七九)

三月二十三日 木曜日

(255)

九四六六 我軍印度進入 大本營から次の如く發表せられた

一 中部印緬國境附近に作戰中の我軍はトンザン HONDA 周邊地區に於て英印第十七師團に對する殲滅戰を續行すると共に印度國民軍を支援し三月中旬國境を突破し印度國內に進入した

二 敵は三月五日以來北部ビルマの一部に空輸部隊を侵入せしめたが我軍は之を各所に捕捉攻撃中であつて既に其一部を殲滅した (九三四五)

九四六七 ロンドン空襲 獨總統大本營發表に依れば獨空軍戰爆連合の編隊はロンドン地區に爆撃を加へた (九四五六)

九四六八 米機獨西北部爆撃 反樞軸空軍司令部發表に依れば米空軍リベレーター、空の要塞、單發重爆撃機約五百機乃至七百五十機より成る編隊は強力なる戰鬥機の直衛下に午前ドイツ西北部及フランクフルト市に對し集中爆撃を加へた (九四五七)

獨軍當局の發表に依れば獨軍防空陣は右空襲に於て四發爆撃機四十九機を含み總計五十七機を撃墜した (九四一四)

九四六九 英機佛諸都市に來襲 反樞軸空軍司令部發表に依れば英空軍重爆撃機隊はフ

ランス南部の工業都市リヨン市の周邊諸目標及パリ東北約八十哩ラオン市の鐵道工場を爆撃した

九四七〇 開戦以來米陸海軍の損害 米陸軍長官スチムソンは記者會見に於て開戦以來
本年三月七日迄の米陸海軍の損害は次の如く總計十六萬八千二百九十二名に達する旨
發表した

陸軍 戦死 二一、七三七 負傷五〇、三六三 (内二、六五九は全快後原隊復歸)

行方不明二六、七四七 俘虜二七、三四六 (内一、六七四死亡)

計 一二六、一九三

海軍 海軍 二七、七九〇 海兵隊二、三八五四 沿岸警備隊四、五五

計 四二、〇九九

總計一六八、二九二 (九二、六〇)

九四七一 米の對ソ物資輸送状況 米陸軍省は、米國がソ聯に輸送した租貨物資は現在
迄に八百四十萬噸に上るが右の内百萬餘噸はイラン經由で殘餘の七百萬餘噸は海路ム
ルマンスクに送つた旨發表した (九四一六)

九四七二 出征將兵投票法案に對する各州知事の贊否 義に口大統領が出征將兵投票法
案に對する各州知事の意見を求めたるに本日全米四十八州知事の回答が出揃つた。同
答の内諱は聯邦政府に依る投票事務の代行に對し贊成十九州、反對二十州で態度不明
明九州である (九四二八)

九四七三 米陸軍記念日指定 口大統領は四月六日を陸軍記念日に指定する旨布告した

(八〇五一)

九四七四 亞青年將校團を解散 リスボン發同盟電に依ればアルゼンチン陸相ペロンは

(九四〇七)

同國二月革命に重大役割を演じた青年將校團を最近解散した

九四七五 ヒットラー總統バルカン樞軸首腦會談 チュリツヒ發同盟電に依れば先週以

來ヒットラー總統は總統大本營に於てルーマニア首相アントネスコ將軍、ブルガリア

攝政キリル其他クロアチア、スロヴァキア、セルヴィア等の最高首腦と會談した

(九四三〇)

九四七六 芬社會事業相ストツクホルム着 フィンランド社會事業相アレクシー・サル

トネンは社會問題の權威マニオを伴ひヘルシンキから空路ストツクホルムに到着 (九

〇五三) した

(九三九二)

九四七七 駐西英大使歸國 駐スペイン英大使サミュエル・ホアーは歸國の途に就いた

(八五八九)

九四七八 エチプト共產黨機關紙の發行許可 リスボン發同盟電に依ればエチプト政府

(九四四一)

は最近同國共產黨の要求を容れ共產黨機關紙の發行を許可した 滿洲國政府參議府會議に於て政

九四七九 滿洲國政府電氣事業の一元的經營方針決定 府の水力電氣建設局と滿洲電業株式會社の合同に關する要綱が決定せられた (九二五四)

三月二十四日 金曜日

九四八〇 我軍トロキナ附近敵陣地攻撃開始　ブーゲンビル島に於る我部隊はトロキナ附近の堅固なる半永久陣地に據れる約一箇師團半の敵に對し三月上旬攻撃を開始し力戦の後敵陣地の一部を奪取爾後敵の熾烈なる砲撃を冒し攻撃を續行中である旨大本營から發表せられた

(九二八八)

九四八一 敵機ラバウルに來襲　敵機戦爆約百四十機がラバウルに來襲所在我部隊は之と

交戦艦載爆撃機四機を撃墜七機を撃破して他を撃退した、我方地上損害輕微 (九四五五)

九四八二 敵機ヤルト島に來襲　午前敵爆撃機B25延二十五機がマーシャル諸島ヤルト

ト島に來襲我所在部隊は之と交戦一機を撃墜他を撃退した、我方の損害は輕微(九四四五)

九四八三 英機ベルリン空襲　英空軍省は戦闘機護衛の下に英爆撃機隊が夜ベルリンを襲

撃四千五百噸の爆弾を投下した旨發表した

(九四六八)

獨軍當局は右空襲に於て獨軍防空陣が敵四發重爆撃機百十二機を撃墜せるを確認した

九四八四 ソフィア空襲　ブルガリア政府は反樞軸空軍がソフィア市に盲爆を加へた旨發

表した

(九四六九)

九四八五 英首相の米軍空輸部隊に對する演説　英首相チャーチルは英本土の米軍基地に

於て米軍空輸部隊に對し演説を行ひ、諸君は間も無く戦局を決定する作戰に参加し得

ツに對し重大なる打撃を與へるであらう旨を述べた

(八五六五)

九四八六 米の遣外武裝兵力

口大統領は記者會見に於て、七月一日迄に米國の遣外武

(九三三〇)

裝兵力は五百萬に達する旨言明した

九四八七 米樞軸財産監理局長官更迭

口大統領は米外國經濟院長官クローリーは樞軸

財産監理局長官兼任を解かれ同局次長ジエームズ・マーカムが後任監理局長官に任命

(七〇八九)

された旨發表した

九四八八 米國人口

米國國勢調査局は一九四三年七月一日現在の米國人口は海外派遣

將兵をも含み一億三千六百四十八萬五千二百六十二名である旨發表した、尙右は一九

四〇年の國勢調査に比較して四百八十一萬五千九百八十七名の増加である (八九五八)

九四八九 米國聯邦政府官吏數

米政府雇傭局は本年一月三十一日現在の聯邦政府官吏

數は二百八十二萬三十六名である旨發表した

九四九〇 パラグアイ政變

リスボン發同盟電に依ればパラグアイ政府の親米英派と目

される外相ルイス・アルハータ及其他の二閣僚が最近軍部の強壓に因り辭職した

(九二五〇)

九四九一 加重慶政權相互援助協定調印

カナダ首相マツケンジー・キングは下院に於

て、カナダ政府と加重慶政權との間に相互援助協定が調印された旨發表した (九三四二)

九四九二 パレスチナ四市に於る爆發事件

夜エルサレム、ジャファ、テラヴィヴ及ハ

イフアの四市内に於て殆ど同時に爆發事件が勃發し、エルサレムに於ては英人警官六名を含む多數の重傷者を生じ警察本部は大破された
(九三二二)

九四九三 羅ユダヤ人逮捕 リスポン發同盟電に依ればアカレスト警視廳は最近ユダヤ

人三十二名を逮捕した
(九三五九)

九四九四 ヴエスヴキアス火山噴火 ヴニスヴキアス火山は十八日以来猛烈な噴火を續

け既に北麓の四村落は焼失し二十二日以来の新噴火でナポリ灣岸一帯が火山灰で蔽は

れ本日迄に死者二千名を出し住宅を焼失された住民は二萬五千名に上つた

九四九五 香港廣東間經濟協定調印 廣東省政府と香港占領地總督間に昭和十九年度買

易に關する期限一箇年の協定が調印せられた、輸出額は廣東側約六百萬圓香港側約一

千八百萬圓である
(六五五一)

九四九六 日本銀行副總裁後任決定 大藏次官谷口恒二氏が依願本官を免ぜられ日本銀

行副總裁を仰付られた
(九四一〇)

三月二十五日 土曜日

九四九七 我空軍テツタゴン飛行場襲撃 我陸軍航空部隊戦爆連合の大編隊は午前子ツ
タゴン飛行場を襲撃同地上空を制空中の敵戦闘機三十機を追走せしめ對地銃爆撃を以
て大型機一機小型機三機を撃破し歸路敵戦闘機六機（内不確實三）を撃墜して全機歸
還した
（九四六六）

九四九八 ボナベ島に敵機來襲 マーシャル諸島ミトラツク島の中間に位するボナベ島
に晝間大型爆撃機二機同中型機二十二機が來襲所在我部隊は之と交戦中型機一機を撃
破して撃退した、我方被害なし
（九四八二）

九四九九 ラバウル及カビエンに米機來襲 晝間戦爆連合百七十三機がラバウルに來襲
我所在部隊は之と交戦其四機を撃墜六機を撃破した
敵機戦爆連合同約三十機が朝ニューアイルランド島カビエンに來襲我所在部隊は之と
交戦爆撃機三機を撃墜一機を撃破した、我地上損害は輕微
（九四八一）

九五〇〇 米サンデエゴ海軍航空基地司令官更迭 米海軍少將フレデリック・シヤーマ
ンがサンデエゴ海軍航空基地司令官に任命された
（九四四八）

九五〇一 米反樞軸教育會議米代表任命 米國務長官ハルはウキリアム・フルプライト
が近くロンドンに於て開催される反樞軸教育會議米代表團長に任命された旨發表した

九五〇二 米重慶政權に船舶譲渡 米戦時海運局は重慶政權にリバティ型貨物船一隻を譲渡した旨発表した、尙右船舶の船籍は譲渡後も米國籍として置かれる (六五七四)

九五〇三 亞三米國會社を處罰 アルゼンチン政府は米國有線無線電話會社がユー・ビ通信社のアルゼンチン國の對外關係を阻害する虞ある報道を取扱つた嫌で同社に對し二十四時間の營業停止及一千ペソの罰金を課し又汎米航空會社の子會社グレース航空會社が非合法的郵便物を發送した嫌で同社に一千ペソの罰金を課した旨発表した (九四七四)

九五〇四 英の航空郵便制限 英政府は作戦上の理由に由り今後スペイン、ポルトガル、スイスを含む十二箇國に對する民間航空郵便及海外在留英國人並に俘虜への航空郵便を停止する旨発表した (九四八五)

九五〇五 英炭坑罷業未解決 英國ヨークシャー南部に於る諸業炭坑数は四十、罷業炭坑夫は六萬に達し、ドンカスターに於ても二萬五千の炭坑夫が罷業繼續中である (九三五七)

九五〇六 ヴェネチア日伊協會創設 ムソリニ首班を會長とする日伊協會の發會式がヴェネチアに於て舉行せられた (九二五四)

九五〇七 英公使を國外追放

ハンガリー政府は駐スエーデン公使ウレイン・レヴィ

ツキー・証スペイン公使アムプロー及在シユネーヴのハンガリー改革聯盟の責任者ホ

(九四五八)

ンチの三名を國外追放處分に附した旨發表した

九五〇八 西政治犯人釋放

スペイン政府は政治犯人一千八百七十名が條件付で釋放さ

(九三九四)

れた旨發表した

九五〇九 第八十四帝國議會閉院式

第八十四帝國議會閉院式が午前貴族院に於て舉行

(九四六五)

せられた

三月二十六日 日曜日

九五一〇 ラバウルな米機來襲

ラバウルに壹機燃焼七十七機が來襲したが我所在部隊

は之を撃退した

ニューアイルランド島カビエンに午前敵機燃焼約六十機が來襲我所在部隊は之と交戦

(九四九九)

撃退した、地上の損害輕微

九五一一 スマトラに敵機來襲

敵四機大連急襲機一機が深夜スマトラ海南端シメウル

(九三九九)

島に來襲したが我部隊は之を撃破して撃退した

九五一二 獨軍東部戦線兩市撤退

獨軍當局は東部戦線の獨軍がプロスクロフ市

(九四四七)

Proskurov 並にバルチ市 Balhi を撤退した旨發表した

九五一三 赤軍ブルート河に到達

赤軍コーネフ元帥麾下の第二ウクライナ戦線軍は福

五十三哩の線に亘りブルート河に到達した

(九五一一)

九五一四 反樞軸救済復興局長官カイロ着

反樞軸救済復興局長官レーマンはカイロに

到着した

(九三七二)

九五一五 英首相放送演説

英首相チャーチルは午後放送演説を行ひ、現在伊戦線に於

る反樞軸軍の進撃は豫想した程早くなくとも結局反樞軸軍が勝利を収めるであらうが未だ東地中海を支配するには至つてゐない。吾々は今日潜水艦の致命的脅威からは漸く脱却した、英國の空軍力は今日著しく強化されたが英國駐屯米空軍の兵力は英空軍の兵力を凌駕するに至つた。伊戦線にも殆ど同じ兵力の空軍が控へてゐるから此等が協力すれば將來多大の戦果を擧げることが出来るであらう。ソ聯邦の友人達が水陸兩用大規模な作戦を必要とする渡洋作戦に伴ふ複雑困難な情勢を諒解しないとしても何等不思議はない。ソ聯邦は獨軍の攻撃に當つても陸上に於て邀撃したのであつた。太平洋戦線に於ては英國が米軍の指導権を認め印度作戦に於ては米國が英軍の指導的地位を認めた。濠洲軍並にニュージールランド軍も對日戦に参加したが英本國が獨軍との抗争に精一杯の際に米軍の作戦が此等自治領の盾となつたことに對し英帝國は深く感謝しなければならぬ。英帝國は米國と共に對日戦を繼續する公約を與へてゐる。英國は日本軍から最大の痛手を受けてゐるので印度並にベンゴール灣に於る英軍擔當の戦

場に於ては極力米軍を援助して重慶と米國との接觸を實現するに努めるであらうが、
ルマ戦線に於る戦局の歸趨を豫斷するは尙早である旨を述べた (九四八五)

九五一六 緜豫備將校下士並な青壯年登録 ルーマニア陸軍省は、一切の豫備將校並に

下士官及二十五歳以上四十歳迄の男子で一九四一年六月二十日以降少くとも四十五日
間軍務又は勞務に就いた事のない市民は四月一日から十五日迄に最寄の徵兵局に出頭

登録すべき旨を布告した (九四九三)

九五一七 淮海省地區敵産國民政府に返還 現地軍當局は淮海省地區に於る舊重慶政權

系財産たる徐州日報其他九十八件を國民政府に返還することとなり徐州市淮海省政府
に於て日華代表列席の下に移管式が舉行せられた (九三七八)

三月二十七日 月曜日

九五一八 一九四三年中の米英傷病兵數 米陸軍省は一九四三年中に飛行機に依り後方

に輸送された米英側傷病兵の總數は十七萬三千以上に上る旨發表した。主要戰場別の

内譯は次の通りである

ニューギニア 七〇八〇八 ソロモン諸島 二三、七六七

チユニシア・シチリア及イタリー 本土 五八、四七九 (九四七〇)

九五一九 フランスに於る空襲被害 佛空爆犠牲救済委員會は、反艦軸空軍の爆撃は少

くとも八千以上の地區に及び建築物五十二萬二千二百八十二棟が破壊或は損害を蒙つ

(九三一二)

た旨發表した

九五二〇 米國議會復活祭休暇 米國議會は復活祭休暇 Easter Vacation

(八四六三)

のため本日より四月十三日迄休會に入つた

九五二一 米二月中の軍需生産状況 米戰時生産局長官ネルソンは、二月は一月に比較

して飛行機四〇%、中程爆撃機一四%、上陸用舟艇一〇%の生産増加を示現した旨發表

(九三三六)

した

九五二二 米二月中の船舶建造高 米戰時生産局長官ネルソンは、二月中に於る船舶建

(九二〇〇)

造高は百三十四隻百三十七萬五千重量噸に達した旨發表した

九五二三 米伯に編遂艦引渡 米政府は租賞協定に基き編遂艦四隻をブラジル政府に引

(七九六四)

渡した

九五二四 日佛印商交易協定調印 帝國大使府と佛印總督府間に於て一九四四年に於る

(八四一六)

佛印及日本間の交易に關する取極が調印せられた

九五二五 汪國民政府主席入京 汪國民政府主席は去る三月三日南京より空路東京着直

(七七二二)

に入院加療中にて經過良好なる旨情報局から發表せられた

九五二六 國民政府發給銀券を強制買上 國民政府財政部は金融業者の儲備券封鎖銀券の

賣買を禁止し金融業者の保有する豫取券を百元對十八元の公定相場にて強制買上を行
ふことに決定本日より實施せられた

(八四八七)

九五二七 郵便料金の引上 四月一日より實施せられる郵便法中改正法律に關する省令
告示等が公布せられ書狀二十瓦毎に七錢、通常葉書三錢、封緘葉書七錢、速達料普通
地域宛二十錢、内國電報基本料金五十錢、公衆電話通話料は東京大阪十錢に夫々四月
一日より値上されることとなつた

(八六三三)

三月二十二日 水曜日

補遺

九五二八

合衆國外交政策の基調

米國務長官ハルは上院外交委員會に出席秘密

會に於て二時間に亘り米外交に關し説明を爲し夜國務省から、米外交政策至高の目標は可及的迅速に戰爭に勝つことであつて國家の安全を保障し國民の經濟的社會的福祉を増進することであつて國際的協力ニ武力を背景とした國際組織の創設三、政治的意見の相違の調停四、國際裁判所五、軍備縮少六、モスクワ四國宣言七、四國宣言實施に依り勢力範圍及同盟の無用化八、侵略國に對する監視九、貿易障壁の縮少乃至排除一〇、國際金融一一、大西洋憲章一二、大西洋憲章に依る保障に對する各國民の義務一三、各國主權の平等一四、政體を決定する自由一五、他國の内政不干渉一六、自由一七、依存民族に對する義務の十七箇條よりなる合衆國外交政策の基調に關する覺書が發表せられた

(九四四九)

三月二十四日 金曜日
補遺 九五二九 敵機アンダムン列島に來襲 敵モスキート爆撃機三機がアンダムン列島に來襲我戦闘機隊は之を邀撃其の一機を撃墜した (九五二〇)

補遺 九五三〇 ビルマ戦線英軍密林作戦部隊司令官戦死 英陸軍省發表に依ればビルマ戦線の英軍密林作戦部隊司令官チャールズ・ウインゲートは飛行機事故で死亡した

三月二十六日 日曜日

補遺 九五三一 在ソ聯波軍第三師團を組織 在ソ聯ポーランド軍當局は第三師團を組織しガリツキー少將を同師團長に任命した (九一三四)

三月二十七日 月曜日

補遺 九五三二 反樞軸軍南伊戦線に於て後退 地中海方面反樞軸軍司令部發表に依れば、反樞軸軍部隊は攻勢開始以來十日間に亘つて包圍してゐた僧院の森上部斜面障地並に他の一丘陵から舊陣地迄撤退した (九〇五八)

補遺 九五三三 濠洲軍及軍團司令官更迭 濠洲陸相フォードは前參謀長中將ヴァーモが第一軍司令官に、中將モースヘッドが第二軍司令官兼臨時ニューギニア派遣軍司令官に、少將サヴィチが中將に進級第一軍團司令官に、少將ベリマンが中

補遺

九五三四

濠洲首相英帝國首相會議に出席

濠洲首相カーチンは放送演説を行ひ

(八八一二)

(27)

彼は近くキヤンベラを出發しロンドンに於てチャーチル其他自治領首相と重要協議を行ふが其際對日戰に使用される反樞軸軍の兵力並に器材の量が討議される筈である旨を述べた

(九二八二)

補遺

九五三五

駐勃ソ聯大使離任

駐ブルガリア蘇聯大使ラウリチエフはソフイアよ

(八〇九一)

補遺

九五三六

比島カリバビ政治團體に改組

比島カリバビ本部は、近く布告される

大統領令に依り同團體の改組を行ひ新にカリバビ憲章を制定して一國一黨の新政治團體として發足することとなつた旨發表した

(九一六九)

××

××

××

××

三月二十八日 火曜日

九五三七

ビルマ方面戰況

ビルマ方面の戰況が左記の如く大本營から發表せられた

一、北部ビルマ方面の我軍はフーコン

HUKAWIN

地區より侵入せる重慶軍新編第一

軍の二個師及米英聯合約二個旅團をミートキーナ

MYITTHA

西北方地區に遊撃

中である、カーサ Karsa 周邊地區に降下した敵空輸部隊に對しては目下包圍圈壓縮中である

二、中部ビルマ國境方面の我軍はチン Chin 丘陵及カパウ Kabaw 溪谷附近に於て包圍せる英印軍第四軍團主力に對する攻撃を續行すると共に主力を以てインパール Imphal 平地に進撃中である

三、南部印緬國境方面の我軍は英印軍第七師團主力殲滅後更に同方面に進出して來た英印軍第十五軍團主力に對し反撃中であつてカラダン Kaladan 河谷方面西亞第八十一師團に對する攻撃と共に戰況は有利に進展してゐる (九四九七)

九五三八 中部印緬國境方面戰況 中部印緬國境方面に於てインパール平地に進撃中の我軍は印度國民軍と共に夜半インパール北方約四十軒に進出し敵の重要補給路たるインパールとコヒマ間の道路を遮斷した (九五三七)

九五三九 敵機ラパウルに來襲 二十七日米空軍戰爆連合百九十七機本日同百三十七機がラパウルに來襲所存部隊は之を邀撃計十機を撃墜十機を撃破した (九五二九)

九五四〇 獨軍プルート河渡河赤軍を殲滅 獨軍當局はソ聯軍はプルート河渡河に成功したが獨軍は反撃に依つて之を殲滅した旨言明した (九五一三)

九五四一 米在英戰團機隊司令官任命 米准將エルウッド・クエサダが英國駐屯米陸軍第九航空部隊戰團機隊司令官に任命された (九五〇〇)

九五四二 米海軍豫算下院可決 米下院は海軍沿岸施設建設追加豫算案を可決上院に同

付した、右豫算案中には百一億九千萬弗の前哨基地建設費が含まれてゐる(九三五一)

九五四三 米戦時生産局長官民需品の生産再開論に對し警告 米戦時生産局長官ネルソンは、戦時生産當局が民間各産業に課してゐる各種の戦時諸制限は少くとも戦争が終るまでは撤廢されることはない、更に戦時不急不要と見做されてゐる民需品の生産再開の如きは全然考慮さへもされてゐない、右は單に勞働力不足からのみ決定されたものではなく銃後並に前線將兵の士氣に與へる影響を考慮したものである旨言明した

(九〇〇九)

九五四四 濠洲遣米軍事使節團長任命 リスボン發同盟電に依れば濠洲政府は最近ジヨ

(八四八二)

ン・ラヴァラツクを米國派遣軍事使節團長に任命した

九五四五 文教改革案に就て英政府下院に於て敗北 英下院の文教改革案第二讀會に於て保守黨議員ケア夫人が同案第八條に修正案を提出し男女教員俸給の平等を主張文相バトラーが之に反對意見を述べたが採決の結果修正案賛成百十七票反對百十六票を以て修正案が可決せられた

(九五一五)

九五四六 伊共產黨領袖イタリー着 イタリー共產黨領袖エルコレ・エルコリはモスク

(九三一五)

ワよりアルジェル經由南部イタリーに到着した

九五四七 サウヂ・アラビア王國シリアの獨立承認 シリア政府はサウヂ・アラビア王

國がシリアの獨立を認め在ダマスカス領事館を公使館に昇格させた旨發表した

(九三六一)

(278)

九五四八 大東亞戰爭公債發行
大東亞戰爭公債六億圓が日本銀行引受に依り發行せられた
(九三九八)

三月二十九日 水曜日

九五四九 敵機ラバウルに來襲 敵戦爆連合延約九十機が午前ラバウルに來襲我所在部隊は之と交戦し戦闘機一機を撃墜した、我方地上に於て若干の損害を蒙つた (九五三九)

九五五〇 獨軍ニコラエフ市撤退 獨總統大本營は東部戦線の獨軍はブダ河東岸のニコラエフ市を撤退した旨發表した (九五一三)

九五五一 敵機パリ市外を爆撃 反樞軸空軍は夜パリ市の東北市外を爆撃相當の損害を生じ十一名が死亡し多數の者が負傷した、反樞軸空軍は更に佛東北部の一都市を盲爆 (九四八四)

八十三名が死亡した

九五五二 加落下傘部隊佛國內に降下 佛情報省當局はフランス系のカナダ兵落下傘部隊が佛國內に降下した旨言明した (九五五一)

九五五三 米の戦車生産高並に其反樞軸軍供給高 米外國經濟院長官クローリーは一九四一年三月以降本年一月迄の期間に米國が租貸法其他に依り反樞軸諸國に供給した戦車及戦闘用車輛の額を次の通發表した (單位千臺)

米國總生産高	戰車五八	戰闘用自動車輛	八九〇
自國軍供給高	三五		一四〇
反樞軸軍供給高	二三		七五〇

	租賃法に依る供給高	戦車二一	戦備用自動車類
現金に依る供給高(主に英國)		一・五	二五〇
ソ聯向租賃供給高		四・七	二三〇
濠・新西蘭・印度・重慶		三・五	一七五

(九四七一)

九五五四 米大統領反樞軸救済復興費米國割當支出法案に署名 口大統領は反樞軸救済

復興費米國割當額十三億五千萬弗支出法法案に署名した (九五一四)

九五三五 亞内相米亞關係に關して言明 アルゼンチン内相ルイス・ペリンヘルは記者

會見に於て、國交關係のない國の大使がアルゼンチンに留まつてあるといふ法はない
あの男に對しては殊更挑戰的態度で應接してゐるがアルゼンチン人なら皆斯る態度を
取るべきである旨言明した (九二八一)

九五三六 英新聞雜誌の輸出禁止 英軍當局は米國、北アイルランド、ジブラルター及

英自治領植民地を除き中立國を含み如何なる國に向けても英本國から新聞、週刊誌其
他の定期刊行物の發送を禁止する旨報告した (九五〇四)

九五三七 佛解放委員會佛中佐に死刑を宣告 フランス解放委員會はフランス中佐ピエ

ル・タリストフイニ Pierre Cristofini を軍法會議に附し樞軸軍との協力を企
圖したとの廉で死刑を宣告した (九四三三)

九五五八 洪三政黨を解散 ハンガリー政府は同國の獨立農民黨、社會民主黨及農民黨

の三政黨に解散を命じた

(九五〇七)

九五五九 首相並に外相ハンガリー首相と挨拶交換 ハンガリー首相兼外相ストヤイが

就任に際し東條首相及重光外相に對し挨拶の電報を寄せたのに對し兩相から共同戦争
完遂の決意を表明せる返電を發した

(九五五八)

三月三十日 木曜日

九五六〇 敵機トラツク、ホナベ、ウオツセ及夕ロア各島に來襲 二十九日拂曉より晝

間にかけてトラツク島に三回に亘り敵四發爆撃機延三十數機が來襲本日午前同様四發三
十三機が來襲したが我所在部隊は之を邀撃計三機を撃墜した外數機を大破せしめて撃
退した、我方地上に若干の損害を蒙つた

敵機三十機朝カロリン群島ホナベ島に來襲所在我部隊は之を邀撃其三機を撃墜した
我方被害なし

午前ウオツセ島に三回に亘り敵戦爆連合延四十三機が來襲所在我部隊は之と交戦撃
退した、地上損害は極めて輕微

午前マロエラツブ環礁夕ロア島に敵五八機が數回に亘り來襲したが我所在部隊は
之を撃退した我方被害なし

(九四九八)

九五六一 敵機ケイ諸島に來襲 午前ケイ諸島ラングールに敵機爆三十一機が來襲所在

我部隊は空戦に依り其一機を撃破した、我方地上損害輕微 (九五四九)

九五六二 ロンドン空襲 獨總統大本營發表に依れば獨空軍は夜ロンドン及イングラン

ト南岸を爆撃した (九四六七)

九五六三 英機獨西南部に來襲 英空軍は夜千機以上の大編隊を以てニユーロンベルグ

を中心とするドイツ西南部を爆撃したが獨總統大本營の發表に依れば獨防空陣は四發

爆撃機を含み百四十一機を撃墜した、獨軍の報告に依れば右空襲に於て英空軍の乗員

千五百名は一部落下傘で降下した以外大半は戦死した、尙英空軍省は右對獨爆撃に於

て九十四機喪失を確認した (九四八三)

九五六四 米機ソフィア盲爆 米空軍は午前ソフィア市を盲爆住宅區域に相當の損害を

與へ市民の間に死傷者を生ぜしめた (九五五一)

九五六五 獨軍チエルノヴィツチ撤退 獨總統大本營は獨軍がチエルノヴィツチ市

Czernovitz から撤退した旨發表した (九五五〇)

九五六六 カシノ戦線に關する米陸軍長官の言明 米陸軍長官スチムソンは記者會見に

於て、カシノに對する反樞軸軍の攻撃は所期の戦果を收め得ずして終つて了つた旨言

明した (九五三二)

九五六七 英潜水艦沈没 英海軍省は英潜水艦三百一十一號が沈没した旨發表した

(九四〇五)

九五六八 西南太平洋反樞軸軍司令部參謀次長任命 米准將ボナーフモラーズが西南太

平洋反樞軸軍司令部參謀次長に任命された (九五四一)

九五六九 英南大西洋方面海軍司令官更迭 英海軍省發表に依れば海軍中將ロバート・

バーネット Robert Burnett が南大西洋方面海軍司令官に任命された (九二六二)

九五七〇 コロンビアに於る革命騒擾事件 コロンビア政府發表に依れば革命を企圖し

た不逞分子が夜不穩行動に出たが軍隊の出動に依りて彈壓され革命は未遂に終り該騒

擾事件關係者七十五名が逮捕せられた (九二六八)

九五七一 英下院首相を信任 英首相チャーチルが文教改革案第八條の修正を信任投票

に附した結果下院は手續上の形式的な問題に就て三回は互り採決し第一回は五百七十

八票對四十三票、第二回は五百九十四票對二十八票を以て政府側が勝利を得、次で修

正條項撤回を採決した結果政府支持四百五十五票反對二十三票を以て下院は再び政府

支持を表明した (九五四五)

九五七二 白ロシア外務人民委員任命 白ロシア共和國政府はカーク・グロウ。ギゼリ

フが外務人民委員に任命された旨發表した (九二七五)

九五七三 堀切大使アンカラ着 堀切大使はウイーン經由アンカラに到着した (三七四四)

九五七四 北支軍敵産を移管

北支軍は舊直度政權財産及米英其他敵國財産計千五百四

十八件を華北政務委員會に移管することとなり午後華北政務委員會外交大樓に於て石

移管式が舉行せられた

(九五七四)

九五七五 北樺太石油及石炭利権の移譲並に漁業條約の延長

日ソ中立條約締結の際の

了解に基き北樺太石油及石炭利権の移譲に關する議定書並に漁業條約の五箇年間延長

に關する議定書がモスクワに於て佐藤駐ソ大使とソ聯外務人民委員代理ロソフスキと

の間で調印せられた

(二七四)

九五七六 兩部印緬國境方面戰況 兩部印緬國境方面の我軍は引續き戦線整理中の敵を攻撃中であつて三月一日以來の戦果中現在迄に判明せる主要なるものは敵遺棄死傷約二千七百、俘虜七百六十、鹵獲又は破壊せる兵器は各種火炮二十三、戦車及装甲車頭約百五十、銃器多數であつて我方の損害は戦死が三百五十七名に達した旨大本營から發表せられた

九五七七 英ティティム陷落發表 英印軍司令官オーヒンレックは印度中央立法會議に於てティティムが陷落した旨發表した

九五七八 ラバウル、ナマタナイ及クーバンに敵機來襲 暹羅敵機爆延二百二十三機がラバウルに來襲所在我部隊は之と交戦敵機八機を撃墜同三機を撃破した、地上の損害は輕微

ニューアイルランド島中部ナマタナイに敵機襲撃延二十五機が數回に亘り來襲所在我部隊は之を撃墜其二機を撃破した、我方損害輕微

深更子モール島クーバンに敵機襲撃延十八機が來襲所在我部隊は之を撃墜其一機を撃破した、我方損害なし

九五七九 敵機ワオツゼ、タロア及マルト島に來襲 朝敵小規模延三十七機が二回に亘りワオツゼ島に來襲我所在部隊は之を撃墜其一機を撃破した、我方損害なし

午前マロエラツブ環礁夕ロア島にB25延十四機が來襲所在部隊は之と交戦撃退した
午前ヤルトト島に敵中型機延十五機が來襲所在部隊は之を撃退した、地上損害なし
(九五六〇)

九五八〇 獨軍のナルヴァ戦線に於る戦果 獨軍當局は、ナルヴァ戦線の獨軍がナルヴァ

ア河西岸の有力な赤軍橋頭堡を完全に掃蕩赤軍五個師團を殲滅し敵戦死六千名以上、
俘虜六百三十七名、火砲五十九門鹵獲の戦果を収めた旨發表した (九五六五)

九五八一 英空軍獨西部襲撃 英空軍省發表に依れば英空軍モスキート爆撃機隊は夜獨

西部を襲撃した (九五六三)

九五八二 地中海に於る米海軍の損害 米海軍省は、地中海方面に於て一月二十二日か

ら現在迄に各種の原因に因り掃海艇二隻、港内曳船一隻及上陸用舟艇八隻を喪失した
(九四六〇)

旨發表した

九五八三 米の太平洋作戦参加航空母艦數 米海軍長官ノツクスは、航空母艦五十隻以

上が太平洋作戦に参加してゐる旨言明した (九四一一)

九五八四 米出征將兵投票法案成立 大統領は、彼の署名なくして出征將兵投票法案

を成立せしめることとした、同法案は出征將兵が選挙權を行使するに全然不適當であ

つて選挙權行使不可能な者が續出した場合には議會が其責任を負ふ可きである旨の教

書を議會に送り同法案を成立せしめた (九四七二)

九五八五 米英及米ソ航空會談 米國務省は商務次官補パール及民間航空局長ワーナー

が民間航空問題に就て英政府代表と協議の爲ロンドンに赴くこととなつた旨及商務省

顧問タルー、民間航空局長ボーグ及商務省の航空局長次官補バーデン等が華府に於て

ソ韓代表と二週以内の航空問題に就て會談を開始する旨發表した(一九五八五)

九五八六 米加航空線備會談 カナダ首相マッケンジー・キングは、最近民間航空政策

に關し米國代表商務次官補パール及民間航空局長ワーナーとカナダ代表軍需補給相ハ

ウ、外務次官ロバートソン及トランス・カナダ航空會社總裁シミングトンの米加兩國

代表間に豫備的會談が行はれた旨發表した (一九五八五)

九五八七 米イラン兩國相互に公使館を昇格 米國務省は在テヘラン米公使館を大使館

に昇格するに決定した旨イラン政府に通告した、同時にイラン政府も在米公使館を大

使館に昇格させた (一九二五五)

九五八八 米イラン通商協定調印 米政府は米國イラン兩國政府間に通商協定が調印さ

れた旨發表した (一九五八七)

九五八九 反極軸救済復興會議第二次評議會開催日決定 反極軸救済復興會議次長ア

・サー・ソルターは、同會議第二次評議會が反極軸諸國代表出席の下に六月十三日カナ

ダのモントリオールに於て開催されることとなつた旨發表した (一九五五四)

九五九〇 英三月中石炭産出高 英燃料相ロイド・デヨードは、三月に於る英石炭産出

高は六十三萬七千八百餘で開戦以來の最低であつた旨言明した (八四五四)

九五九一 ハンガリーのユダヤ人雇傭禁止令 ハンガリー政府は官憲、市町村及公共團

體其他公共事業、國立銀行等に於てユダヤ人を雇傭することを禁止し現在雇傭中のユ

ダヤ人を解雇すべき趣旨の命令を公布實施した (九五五八)

九五九二 イラン内閣總辭職 イラン内閣は總辭職した (九五八八)

九五九三 對支爲替政策現行換算率堅持 對支爲替政策に關する件が閣議に於て決定せ

られ我國の中華民國の各通貨に對する現行換算率を堅持することとなつた (九五二六)

九五九四 國民政府の淮海省に於る豫銀券回收 國民政府は淮海省に於て四月十日から

同三十日迄に百元對十八圓の比率を以て全面的に豫銀券を儲備券に交換することに決

定した (九五九三)

九五九五 昭和十八年朝鮮米實收高 昭和十八年に於る朝鮮米實收高は一千八百七十一

萬八千九百四十石である旨朝鮮總督府から發表せられた (九三六四)

九五九六 昭和十九年度預金部資金運用計畫 預金部資金運用委員會に於て昭和十九年

度預金部資金運用計畫は總額百六億四千八百五十萬圓に決定した (九〇六七)

四月一日 土曜日

九五九七

三月中に於る獨海空軍の戦果

獨總統大本營はドイツ海軍並に空軍部隊は反

樞軸軍補給用船舶攻撃戦に於て三月中に商船二十九隻十五萬六千噸、驅逐艦及哨戒艇

二十二隻、快速艇十二隻を撃沈した旨發表した

(五一三七)

九五九八 米機獨西南部に來襲

獨軍當局の言明に依れば米空軍爆撃機隊が午前ドイ

ツ西南部に來襲獨防空部隊は之を邀撃四發重爆撃機其他合計二十一機を撃墜した

(九五八一)

九五九九 米機スイス爆撃

米空軍爆撃機隊は白晝スイス北部のシヤフハウゼン市を爆

撃した、スイス政府の發表に依れば右爆撃に因り死者二十名重傷者四十六名倒壊家屋

二十七戸を出し其他停車場精密機械工場が損害を受けた、尙政府は直ちに駐米スイス

公使をして米政府に抗議せしめた

(九五六四)

九六〇〇 開戦以來米軍の損害

米戦時情報局は開戦以來の米陸海軍の損害は次の如く

十七萬三千二百三十九名に達する旨發表した

戦死四〇、六五七

戦傷六四、〇九八

行方不明三六、三二一

俘虜三二、一六三

計一七三、二三九

米海軍省は米海軍海兵隊及沿岸防備隊の損害は次の如く四萬二千八百二十九名に達

する旨發表した

戦死一八、一二九

戦傷一、〇八九

行方不明九、一九〇

俘虜 四四、二二一

計 四二、八二九

(九五一八)

九六〇一 獨宣傳相演説

獨宣傳相ゲツベルス博士はベルリンで開催されたナチス黨地方指導者大會に於て演説を行ひ、東部戦線は全戦線の一部に過ぎない随つて東部戦線に於る戦局の發展は懸案となつてゐる他の戦線と關聯して考へて初めて正しく判断し得るのである、西歐に對する重大な決定が近づいた場合ドイツ戦争指導者は最上の方

法に依つて情勢を克服するであらう旨を述べた (九〇六五)

九六〇二 伊共產黨領袖聲明

イタリア共產黨領袖エルコリはイタリア共產黨を代表して、イタリア共產黨は舊イタリア王エマヌエル三世の退位要求を撤回し現状の儘パド

リオ政權に入閣する用意ある旨聲明した (九五四六)

九六〇三 重慶迪化間乗合自動車運轉開始

重慶迪化兩市間に乗合自動車の運轉が開始

せられた、尙運行は一箇月置きに一回宛兩地點より交互に出發する (九一五一)

九六〇四 増税關係改正法律實施

第八十四帝國議會に於て成立した所得税法外二十九

法律中改正法律は既に公布一部は實施せられ殘餘の所得税、法人税外直接税、酒税、

砂糖消費税外間接税其他に關するものが本日實施せられた

(八九三九)

九六〇五 旅客輸送の制限實施

國有鐵道及私有鐵道の全線に亘り旅客輸送の制限が實

施せられ大體百軒以上時間にして二時間以上を要する遠距離旅行及定期乗車券購入に

は證明書を要し旅行見合、中止、船便指定を受けた旅客の船便變更取止に因る乗車券
又は運賃拂戻には其五割の手敷料を要することとなり日滿支連絡船を除き手荷物制度
は廢止せられた
(九三四四)

四月二日 日曜日

九六〇六 敵機トラツク島に來襲 三月三十一日夜より本日迄の三日間に敵機延四十六
機以上がトラツク島に來襲所在我部隊は空戦並に地上砲火に依り其十五機を撃墜破し
た (九五七九)

九六〇七 敵機ラパウルに來襲 敵戦爆連合延約二百機が午前午後數回に亘りラパウル
に來襲我所在部隊は之と交戦した、戦果不明、地上損害輕微 (九五七八)

九六〇八 赤軍ルーマニア領に進入 ソ聯外務人民委員モロトフは深更突然外國記者團
を引見し、ドイツ及ルーマニア軍を追撃中のソ聯軍はブルト河を數地點に於て渡河
しルーマニア領に入つた、然し赤軍の進撃は軍事的必要のみによつて行はれて居りソ
聯政府はルーマニア領の如何なる部分をも取得する意思はない、尙此聲明を行ふに當
りソ聯政府は米英兩國の諒解を得てゐる旨聲明した (九五四〇)

九六〇九 米機南獨に侵入 獨軍當局の言明に依れば米空軍重爆撃機隊が戰闘機直衛の

下にドイツ南部に侵入アルプス上空に於て獨軍戦闘機隊及驅逐機隊との間に空中戦が展開せられた、D N B 空軍記者の報道に依れば獨防空障は來襲の右敵機を邀撃四發重爆撃機を含み少くとも五十一機を撃墜した

(九五九八)

九六一〇 三月中に於る英空軍の歐洲爆撃狀況 英空軍省は三月中に於る歐洲夜間爆撃で八千機以上の英空軍は二萬八千噸の爆撃を投下し内二萬噸はドイツに投下した旨及此間英空軍の損害は五百五十三機で獨軍飛行機三百四十九機を撃墜した旨發表した

(九三六九)

九六一一 米空軍三月中の損害 英本土駐屯米空軍は三月中歐洲爆撃で二百九十三機を

(九一〇一)

喪失した旨發表した

九六一二 米の對ソ租賃狀況 米外國經濟院長官クローリーは、本年一月及二月の兩月間に租賃法に基きソ聯に軍需品其他の供給物資百萬噸以上が輸送されたが米國よりソ聯に全行程空輸された航空機四千機は右に含まれてゐない、本年三月一日迄に空輸又は海上輸送に依りソ聯に送付された飛行機は八千八百機以上に達してゐる旨發表した

(九五五三)

九六一三 米戰時公債百六十億弗 米財務長官モーゲンソーは來る六月十二日に總額百

(五三五六)

六十億弗の第五回戰時公債を發行する旨言明した

九六一四 三谷駐佛大使佛地中海沿岸の獨防衛狀況視察 ヴイシー發同盟電に依れば三

谷駐佛大使は最近大使館附武官沼田少將を帯同イタリヤ國境よりスペイン國境に至る
フランス地中海沿岸諸地方のドイツ防衛狀況を視察してウイシーに歸還した

(二七五六)

九六一五 ハンガリー政府聲明　ハンガリー政府は、ボルシエヴィズムを撃破し歐洲並

にハンガリーの崩壊を阻止し得る地位にある者はヒットラー總統のみであつてハンガ
リー軍は共同の敵に對する宿命的闘争に於てドイツと肩を並べて闘つて居り共通の目
的を達成する爲にはハンガリー國民は運命を決する此生死の戦に全力を擧げて参加し
なければならぬ旨聲明した

(九五五九)

九六一六 重慶政權軍外蒙古國境侵犯　新疆省駐屯の重慶政權軍は昨年末避難民を追躡

して外蒙古の國境線を突破し住民部落を射撃外蒙軍に依り撃退されたが今後同様の事
件が発生する場合にはソ聯政府は外蒙古共和國との相互援助條約に基き外蒙古の安全
保障の爲一切の支援を與へるであらう旨をソ聯タス通信社は報道した

四月三日　月曜日

九六一七 南伊戦線戦況　地中海方面反樞軸軍司令部は、獨軍はカツシノ市南部停車場

附近の丘陵を占領した旨及反樞軸軍はカツシノ市北方のカステルヌヴオ山の線に達
出した旨發表した

(九五六六)

九六一八 米機ブダペストに來襲 米空軍爆撃機隊は夜再びブダペスト地區に來襲ドイ

ツ竝にハンガリー空軍部隊はハンガリー西南部に於て之を遠撃高射砲のみに依り少く
とも其十四機を撃墜した (九五九九)

九六一九 三月中に於る獨防空陣戦果 獨軍當局は、現在迄に判明した戦果を綜合すれ

ば獨軍は三月中に四發重爆撃機一千機を含み一千二百三十四機を撃墜した、二月中の
撃墜機數八百八十六機に比較すれば約四割の増加である旨言明した (九六一八)

九六二〇 米空軍のスイス爆撃に關して米國務長官言明 米國務長官ハルは、全米國民
は米空軍のシヤフハウゼン爆撃に就て深甚な遺憾の意を表明してゐる、政府は爆撃に
因り生じた損害を賠償し斯る爆撃の再發を防止する爲萬全の豫防措置を購ずる旨を發
表した (九五九九)

九六二一 三月中に於る米飛行機生産高 米戰時生産局次長ウイルソンは三月中に於る
米飛行機生産高は九千百十八機である旨發表した (九五二一)

九六二二 米英航空會談開始 米國務次官補パール及民間航空局長ワーナーは英外務省
に外相イーデンを訪問第一回航空會談を開始した (九五八五)

九六二三 サルヴァドルに革命勃發 在華府サルヴァドル公使館當局は、サルヴァドル
に於て革命が勃發したとの報道を接受した旨發表した (五七九三)

九六二四 伊共和國の防軍司令官任命 ムソリニ統帥は陸軍中將ロメジアリがイタリ

社會主義共和國々防軍司令官に任命された旨發表した

(九三〇八)

(290)

九六二五 ド・ゴール將軍がフリカ佛軍最高司令官就任

ド・ゴール將軍は北竝に西ア

フリカ地方に於るフランス軍最高司令官に就任した

(九四六四)

九六二六 佛解放委員會共產黨委員參加

北アフリカ共產黨首領フランソア・ピルウ竝

に元フランス共產黨中央委員フェルナン・グルニエが同委員會に加入した

(九六二五)

九六二七 亡命ギリシヤ政權首相辭職

亡命ギリシヤ政權情報局は首相兼外相エンマヌ

エル・ツィネロスが辭職し現海相ソフォセレス・ヴエニゼロスが後任に推薦された旨

(八四八五)

發表した

九六二八 米の動員強化

米徴兵局長官ハーシエーは、最近行はれた召集延期特典の撤

廢其他の動員強化措置に依り本年七月一日迄に百萬以上の壯丁が新に陸海軍に動員さ
れることとなるであらう旨發表した

三月三十一日 金曜日

補遺

九六二九

米陸軍次官國民徵用に關して言明 米陸軍次官パターソンは下院陸軍委員會に於て、米國は現在軍隊に百七十萬人、鐵道に十萬人、炭坑に四萬人を必要とするが人員不足唯一の對策は國民徵用以外にない、さもなくば兵役免除となつた壯丁三百五十萬人を産業或は陸軍勞働隊に召集することが必要であるであらう旨言明した

(九三五〇)

四月一日 土曜日

補遺

九六三〇

英石炭生産狀況 英燃料相ロイド・チヨ―チは、三月中の石炭生産高は週當平均三百六十三萬七千八百噸で開戦以來の最低を示した、生産高の低下は主として罷業に因る十八萬八千八百噸、輸送力不足に因る二萬三千百噸、氣候不順に因る二萬一千九百噸の夫々週當減産を示したのに基づくのである、三月十一日迄の六箇月間の石炭生産高は百五十萬八千噸の減少を示してゐる旨發表した

(九五九〇)

補遺

九六三一 伊駐日代理大使任命

イタリー社會主義共和國政府は陸空軍大佐ロメ

オ・プリンチビーニ(七五三八)を同政府の駐日代理大使に任命した

(九六二四)

四月三日 月曜日

補遺

九六三二

米機ラパウルに來襲

晝間敵戰爆連合延百九十五機が數回に亘りラバ

ウルに來襲所在部隊は之を邀撃其五機を擊墜した、地上の損害輕微

(九六〇七)

××

××

××

××

四月四日 火曜日

九六三三

カロリン諸島南方に於る航空戰々果

カロリン諸島南方海面に於る航空戰に

就て大本營から次の如く發表された

一、三月二十九日有力なる敵機動部隊カロリン諸島南方海面に出現同方面の我航空部隊

は之を捕捉三月二十九日夜より四月一日に亘り反覆攻撃を加へ巡洋艦二隻を擊沈、

戰艦二隻、航空母艦一隻、大型艦一隻其他を大破若は炎上せしめたが敵も亦三月三

十日より四月一日に亘りバラオ諸島ヤツブ島並にメレヨン島を空襲した、所在我部隊は之を邀撃し其約八十機以上を撃沈したが我方にも若干の損害があつた

二、敵は其間基地航空部隊を以てマーシャル諸島、東カロリン諸島、ビスマルク諸島並にニューギニア島方面を特に頻繁に空襲したが所在我部隊は直ちに反撃を加へ敵機約六十機を撃墜破して之を撃退した

(九六〇六)

九六三四 敵海空軍ウオツゼ及トラツク島に來襲 午前マーシャル諸島ウオツゼ島に

敵小型機延二十四機が來襲所在我部隊は之と交戦其二機を撃墜したが敵は更に大型驅逐艦一隻を以て同島に艦砲射撃を加へたので我部隊は之を邀撃多數の命中弾に依り之に大損害を與へて撃退した

三日夜より本日拂曉に亘り敵B24十數機がトラツク島に來襲更に深更同機十數機が同島に來襲所在我部隊は其都度之を邀撃々退したが本日深更には其二機を撃墜一機を撃破した、我方の損害輕微

(九六三三)

九六三五 自由印度假政府首班聲明 自由印度假政府首班ボースは聲明文を發表し、自

由印度假政府は印度國民の唯一の政府である、假政府は解放地域にある印度國民に對し印度國民軍並に假政府の任命した行政官吏に凡ゆる援助及協力を與へんことを要求する、假政府は印度に對する日本の態度に全賴の信頼を置いて居り日本は印度に對し何等領土的、政治的、經濟的或は軍事的野心を有せざることを確認してゐる、假政府

は目下独自の通貨として各種單位のルピー紙幣發行の準備を進めて居り差當り日本政府の所有せる通貨を利用することとなつたが独自の通貨入手次第隨時之を回收する、諸君は自由の國民に立還らんとしてゐる、諸君自身の政府、自國假政府に聽せ參ぜよ、而して諸君の新に獲得せる自由印度の保衛に援助を與へよと述べた（八四二九）

九六三六 獨空軍のコロステン爆撃 獨軍當局の言明に依れば數百機からなる獨空軍は

夜キエフ西北方の要衝コロステンを襲撃工場施設に多數の大型爆弾を投下し大損害を與へ獨軍戦闘機隊は赤軍戦闘機隊と空中戦を交へ其三十三機を撃墜獨軍は二機を喪つた（九五八〇）

九六三七 北氷洋に於る獨海軍の戦果 獨總統大本營は、北氷洋水域に作戦中の獨潜水

艦は過去數日間に反樞軸艦隊を攻撃驅逐艦コルヴェット計十四隻（大型驅逐艦數隻を含む）を撃沈した旨發表した（九五九七）

九六三八 米空軍ブカレスト爆撃 米空軍爆撃機隊は有力なる戦闘機直衛の下に晝間ブ

カレスト市を爆撃住宅地風に爆弾を投下したがドイツ及ルーマニア兩國空軍戦闘機隊並に地上砲火は之を反撃四發爆撃機多數を撃墜した（九六一八）

九六三九 開戦以來英軍並に一般民の損害 英首相チャーチルは開戦以來英軍の蒙つた

損害は次の如く六十六萬七千五百五十九名に達する旨及一般英人の死傷は十萬九千一百一名に達し内死者は四萬九千七百三十名なる旨發表した

戦死一五八、七四一

行方不明七八、二〇四

負傷一五九、二一九

俘虜二七〇、九九五

計 六、六〇七、〇〇〇

右の内商船隊員及海軍の死傷は三萬三百十四名である

(九五一八)

九六四〇 米第十七海軍區設置

米海軍長官ノックスは、アラスカ及アリユイシヤン列

島を包含する地域に第十七海軍區を設置し少將ホワイテイングが同海軍區司令官に任

命せられた、司令部は差當りアリユイシヤンのアダツタ島に設置するが司令部事務所

はシヤトルに置く筈である旨發表した

(八九四六)

九六四一 米海軍次官演説

米海軍次官フォレストルはニューヨークに於て演説を行ひ、

其中に於て日獨兩國を始め各國が内線作戰を行ひ得るのに對し米英兩國は外線作戰を

戦はねばならず之が爲には補給線を維持する上からも米國は他國に比較して大兵力の

蓄積を必要とする、米海軍は本年海軍航空部隊機として二萬八千機及戰闘用艦艇五百

八十一隻を完成する豫定である旨を述べた

(八四二〇)(九六二一)

九六四二 伊諮問委員會米代表更迭

米政府當局は駐エチプト米公使アレクサンダー・

カークが大使の資格を以て反樞軸イタリイ諮問委員會米代表後任(七八六三)に任命

された旨發表した、前代表マーフイは依然大使の資格を以て地中海戰域反樞軸軍司令

官政治顧問の任務に就く

(八四六五)

九六四三 伊諮問委員會英代表更迭

英政府はイタリイ諮問委員會英代表を更迭し商艦ブ

ラジル大使チャールズを後任英代表に任命した、同委員會は今回本據をアルジエールからイタリー南部に移されチャールズは高等辨務官の資格で同地に赴任する

(九六四二)

九六四四 米國防運輸局長官後任々命 米國州際商業委員モンロー・ジョンソンが國防

運輸局長官に任命せられた

九六四五 ウイルキー大統領選舉立候補撤回 米共和黨候補ウイルキーはウイスコンシ

ン州の大統領選舉共和黨豫備選舉に於て敗れた結果ネブラスカ州オマハに於て、共和黨指名大會に於て彼が共和黨候補としての指名を獲得出来ない事が明白となつたので彼は全國の彼の支持者に對して今後彼の推薦運動を一切中止され度き旨を聲明した

(七三九四)

九六四六 英勞働相罷業勞働者に警告 英勞働相ベヴィンは、各分野に於ける罷業は英軍

需工業の重大危機を誘致し特に先週來ヨークシャー地方に起つた事件は獨空軍が例へばシエフィールドを爆撃し英國の交通系統を混亂に陥れる以上に重大である旨を述べた

(九五〇五)

九六四七 重慶政權越境の事實を否定 チューリッヒと發同盟電に依れば重慶政權當局は、

重慶軍の越境事件に關するタス報道は事實と相違し新疆省で或種の軍事衝突が發生したのは事實であるが重慶軍が外蒙古國境を越境して住民に發砲した事實はない旨を言明した

(九六一六)

九六四八 外蒙古政府重慶側聲明を反駁 外蒙古放送局は外蒙古共和國人民政府の名に

於て放送を行ひ、昨年十二月新疆省のアルタイ・カザツク人が同省に於て永往の放牧地を取上げられ國境外への退出を強ひられて外蒙古に避難して來た、然るに新疆省の重慶軍は此等避難民を追跡しつつ國境を突破附近の村落に銃爆撃を加へたので外蒙古軍は之に反撃を加へて撃退した旨を述べた

(九六四七)

四月五日 水曜日

九六四九 三月中五方面に於る帝國陸軍部隊の綜合戦果 帝國陸軍部隊の三月中に於る敵航空部隊に對する進攻及遊撃作戰の綜合戦果及我方の損害が次の如く大本營から發表せられた

一、敵に與へた損害

支那方面 擊墜 九機 (内不確實 二) 擊破 三十二機

ビルマ方面 擊墜 八十一機 (内不確實 二十三) 擊破 五十一機

佛印及泰方面 擊墜 三機

ニューギニア方面 擊墜 百三十機 (内不確實 二十) 擊破 十七機

ブーゲンビル島及ビスマルタ群島其他 擊墜 九十八機 擊破 六十六機

計 四百八十七機 (内不確實 四十五)

二、我方の損害 自燒未歸 四十四機 地上に於る損害 四十九機 (九一九一)

計 九十三機

九六五〇 我軍陸軍飛行場を空襲 我軍航空部隊は黎明存支米空軍の前進基地南寧飛行場を襲撃地上に在つたB₂b爆撃機二機及P₄₀戦闘機三機を炎上せしめ更に機銃射撃した敵戦闘機群と空戦を行ひ其七機を撃墜した外地上の軍事施設一箇所を炎上せしめた。我方の損害二機 (八八九八)

九六五一 一月より三月末迄の獨海軍の敵船撃沈高 獨軍當局は獨海軍が一月より三月

末迄に反樞軸船舶八十六隻四十七萬八千八百八十五噸を撃沈、百十六隻六十二萬五千噸を撃破した旨發表した (九六三七)

九六五二 米空軍ルーマニア油田地帯襲撃 イタリー南部を基地とする米空軍は約百五

十機の編隊を以て齋間ルーマニア最大の油田地帯プロエスチに爆撃を加へたがドイツ及ルーマニア空軍竝に地上部隊は之を逐撃敵重爆撃機五十三機を撃墜した、油田には何等の損害なく精油所に多少の損害を蒙つた (九六三八)

九六五三 敵機佛南部を爆撃 英空軍省發表に依れば敵重爆撃機隊が夜フランス南部の

ツールーズ地區を初爆撃した (九六五二)

九六五四 米西部防衛司令官桑港市民防衛局に警告 米西部防衛司令官中將エモンスは

桑港市民防衛局に書翰を送り、敵は依然米國太平洋洋岸に攻撃を加へ得る能力を有し敵の來襲方法としては潜水艦、航空母艦、潜水艦載飛行機、奇襲部隊の上陸等に依り重要沿岸施設、重要軍需工業地帯、人口稠密地帯、森林地帯等に對する攻撃が豫想される旨を述べた (九一三〇)

九六五五 米陸軍兵役免除者數 米陸軍省は、一九四一年十二月一日以降本年一月三十

一日迄に陸軍が懲罰に由る者を除き兵役免除とした兵員數は百五萬八千名に達した旨發表した (九三一)

九六三六 三月中の米造船高

米海軍委員會は三月中の米造船高は百五十二隻である旨

(九五二二)

發表した

九六五七 駐米ソ聯購入使節代表辭職

米國駐在ソ聯購入使節代表ヴィクトル・クラウ

チホンロ Victor Kravchenko

は突如辭職を發表するに共に、スターリン議長の指

導するソ聯外交政策は米英兩國との協力を危殆に瀕せしめる誤つた政治工作と斷ぜざるを得ない旨をニューヨーク・タイムズ紙に投書した

(九〇〇八)

九六五八 米ウイスconsin州に於る共和黨豫備選舉

米ウイスconsin州に於て行は

れた大統領選舉共和黨豫備選舉の結果は本日判明した所では同州から共和黨指名大會に出席する二十四名の代表の内デウイ支持者十八名、ミネソタ州前知事スタツセン支持者三名、マツカーサー支持者三名でウイルキー支持者は今の所一名も當選確實となつてゐない

(九三三七)

九六五九 英本國エア―間電話通信遮斷

英政府はアイルランド各地と英本國間の公衆

(九三五四)

電話通信を遮斷する旨發表した

九六六〇 對東亞在住印度人銀行創設

自由印度假政府下の東亞在住三百萬印度人のた

めの銀行の開行式がビルマに於て北澤參事官、タキンミヤ副總理其他日本ビルマ屬國軍官民並に在ビルマ印度人代表參列の下に舉行せられ即日業務を開始した

(九六三五)

九六六一 廣東省長暗殺さる 廣東省長陳耀祖は四日廣東市内通行中兇漢のため拳銃反
手榴弾を以て狙撃され重傷を負ひ本日逝去した

四月六日 木曜日

九六六二 皇軍コヒマを攻略 我新鋭部隊は印度國民軍と共に早朝インパール・デイマ

プール道 Imphal-Dimapur road 上の要衝コヒマ Kohima を攻略した (九五七七)

九六六三 敵機トラツク島に來襲 午前米空軍B24約二十機がトラツク島に來襲我所在
部隊は之を邀撃空中戦に依り其二機を撃墜した、我方被害なし (九六三四)

九六六四 敵機海南島に來襲 敵機連合二十一機が海南島北部に來襲所在我部隊は之
を邀撃して撃退した、我方地上に若干の損害を蒙つた (七五三一)

九六六五 敵機クロアチア首都爆撃 反瀋軸空軍はクロアチアの首都ザグレブ市 Zagreb
を初爆撃した (九六五三)

九六六六 英機ハンブルグ爆撃 英空軍省發表に依れば英空軍モスキート爆撃機隊は夜
ハンブルグ及ルール地方を爆撃した (九六〇九)

九六六七 米航空母艦進水 米海軍護送用航空母艦マキン・アイランドがヴァンクーヴ
アの造船所に於て進水した (九四二四)

九六六八 米陸軍海外派遣兵力

米陸軍長官スチムソンは記者會見に於て、本年一月一

日現在の米陸軍海外派遣總兵力は二百五十萬に達した旨及本年末迄には此兵力は五百萬に達するであらう旨言明した

(九四八六)

九六六九 米海軍長官演説

米海軍長官ノックスはバーミユダ島の米海軍基地に於て演

説を行ひ、反樞軸軍は近い將來に必ず北大西洋の反樞軸輸送兵站線に對する獨潜水艦隊の新たなる大規模攻撃を覺悟しなければならぬ、ドイツは依然多數の潜水艦を續々進水させてある旨を述べた

(九六五一)

九六七〇 反樞軸救濟復興會議代表重慶着

反樞軸救濟復興會議本部は米國人ユージー

ン・ステイレー及オーウエン・ドーソンの兩名が同會議代表として重慶に到着した旨發表した、兩名は重慶政權の設置した救濟復興計畫委員會の専門委員として活動する筈である

(九五一四)

九六七一 米國に於るベニシリル生産狀況

米農務省地方試験所長コグヒルは米國化學

協會席上に於て、ベニシリルの名は細菌から人類を防衛する最良の武器として一躍有名となつた、米國に於る其生産量は昨年六月の約百倍に達し値段も一年間に八四%方低廉となつた、目下同藥は殆ど全部軍用に供されてゐるが更に生産量が増加すれば民間の重病者にも投藥することが出来るやうになるであらう旨報告した

九六七二 ポリヴィア内閣成立

ポリヴィア大統領ヴィラロエルは新内閣を組織した

(九三九〇)

九六七三 ソ聯伊バドリオ政權相互に外交代表交換

ソ聯政府はコステレフ教授を伊バドリオ政權に對する外交代表に任命、伊バドリオ政權は元駐カプール公使グアロニーニ・ビエトロをソ聯に對する外交代表に任命した (九六〇二)

九六七四 英石炭の輸出禁止 英燃料相ロイド・デヨーチは下院に於て、英政府は中立

國向石炭の輸出を一切禁止する旨言明した (九六三〇)

九六七五 イングランド銀行總裁更迭 イングランド銀行總裁モンターギユ・ノルマン

Montague C. Norman が老齡の爲辭任し大藏省財政顧問トーマス・カト *Baron Thomas*

S. Cattoが後任總裁を任命せられた

九六七六 北伊に於る獨軍首腦會談 チューリッヒ發同盟電に依れば歐洲防衛獨軍總監

ロメル元帥は北部イタリーの某地に於てイタリー及中部歐洲に於る獨軍指揮官と重要會談を行つた (九四七五)

九六七七 獨食糧農業相更迭 ヒットラー總統は食糧農業次官ヘルベルト・バツケ

Herbert Backe を食糧農業相に任命した (七六一二)

九六七八 敵機カビエム、ラパウル及ラングールに來襲 敵戦爆連合五十六機が午前カ

ビエンに來襲我所在部隊は之を邀撃急降下爆撃機七機を撃墜した

敵戦爆連合延二百十三機が晝間ラパウルに來襲所在我部隊は之を邀撃艦載爆撃機二機を撃墜五機を撃破した

敵四發爆撃機延二十一機が晝間數回に亘りケイ諸島ラングールに來襲所在部隊は之を邀撃其一機を撃破した、我方損害輕微 (九六三二)

九六七九 獨海軍黒海の敵要港封鎖 獨軍當局は、獨潜水艦隊が黒海に面するコーカサス西岸の要港ボチ、バツーム及スフミを完全に封鎖してゐる旨言明した (九六三六)

九六八〇 赤機ラトヴィア襲撃 ラトヴィア政府發表に依ればソ聯空軍がラトヴィア東部の鐵道交叉點レゼクト市を爆撃建築物多數を破壊し死者約百名を生じた (九六六五)

九六八一 スイス對米抗議 駐米スイス公使カール・ブルツクマンは米國務省に國務長官ハルを訪問去る四月一日の米空軍のスイス國シャフハウゼン市盲爆に對し正式に抗議した (九五九九)

九六八二 米陸海軍兵力 米戰時情報局は米陸海軍兵力に就て次の如く發表した

陸海軍總兵力 陸海軍總兵力は現在一千九十萬であるが豫定最大兵力に達する迄には

尙四十萬を必要とするであらう

陸軍兵力 陸軍兵力は現在既に豫定の最大兵力たる七百七十萬に到達したが之を維持する爲には本年を通じ毎月七萬五千乃至十萬の新規動員が必要である

海軍兵力 海兵隊及沿岸警備隊を含めた海軍總兵力は現在三百二十萬であるが九月一日迄には三百六十萬となる豫定である

海軍航空隊 海軍航空隊に屬する飛行機数は現在二萬七千五百機であるが本年末迄には更に二萬八千機が追加されるであらう、一九四三年末の海軍航空隊操縦士兵力は三萬五千八百五十九名であつた

海軍航空隊操謝士訓練狀況 操縦士訓練計畫の規模は最近縮少されてゐるが今後の操縦士は正規の海軍航空訓練に入る前に豫備訓練として三期に亘る學校教育を受けさせることとなつた

(九六二九)

九六八三 米國の經濟安定策 米國經濟安定局長官ヴィンソン、物價調整局長官ボウル

ス、戰時食糧局長官ジョーンズ及戰時勞動局長官デーヴィスの四名は物價停止令公布一周年記念日の前日たる本日連署を以て、米國の經濟危機は寧ろ今後にあつて物價の急激な上昇を誘致する潜在的事情は今尙存在し各種の推定に依るに國民所得と國民の消費物資との間隙は本年に於て益々擴大されるであらう、斯る狀勢下に於て經濟安定政策に於る物價騰貴阻止及資金停止の諸措置は今後更に強化する必要がある旨の經濟

安定政策概要を説明した報告書を大統領に提出した

(五三〇一)

(306)

九六八四 米國務次官ロンドン着

米國務次官ステッチニアスは隨員一行と共にロンドンに到着した

(九三八五)

九六八五 イラン内閣成立

イラン首相モハメツド・サイドは第二回目の組閣を完了

(九五九二)

國王に閣員名簿を提出した

九六八六 獨宣傳相ベルリン都長官兼任

ベルリン市の全力を戦争遂行に傾注する爲

にヒットラー總統は今回ゲツベルス宣傳相をベルリン都長官に任命首都の行政全權を委任し同時に同市の構成及行政に關する法規は停止された旨及今回の任命はゲツベルス博士の他の職務に影響なく博士は依然宣傳相並に黨ベルリン支部長を兼ねる旨ドイツ政府から發表せられた

(九六七七)

九六八七 一月末國庫現計

本年一月末現在の昭和十八年度國庫現計は歳入總計八十

六億千三百五十七萬六千圓、歳出總計四十八億七千六百四十二萬五千圓なる旨大藏

(八三二五)

省から發表せられた

四月八日 土曜日

九六八八 ブーゲンビル島トロキナ附近戦況

ブーゲンビル島の我部隊は三月八日以

來トロキナ附近の堅固なる陣地に據れる敵を反復攻撃したが目下戦闘交綏の状況に

あり、現在迄に判明せる戦果及我方の損害は次の通りである旨大本營から發表せられた

敵に與へた損害 確認せる遺棄死體約四十、鹵獲又は破壊せる兵器各種火炮三十

七、銃器約三千百、破壊せる特火點約六百

我方の損害 戦死約三千名

(九四八〇)

九六八九 對敵空輸部隊攻撃進捗 カーサ附近一帯の敵空輸部隊(九五三七)に對す

る攻撃は順調に進捗しつつある旨大本營から發表された

(九六六二)

九六九〇 敵機ラバウルに來襲 敵戦爆連合延百八十四機が晝間數回に亘りラバウル

に來襲我所在部隊は之と交戦艦載爆撃機六機を撃墜戦闘機二機を撃破した、地上損

害輕微

(九六七八)

九六九一 米機ウオツゼ島に來襲 マーシャル諸島ウオツゼ島に朝敵戦爆連合四十機

が來襲所在我部隊は之と交戦其二機を撃墜した、我方損害輕微 (九六六三)

九六九二 我軍桂林空襲 我陸軍航空部隊は未明桂林南西飛行場を襲撃對空射撃及敵

戦闘機の邀撃を冒し掩護及滑走路を爆破し二箇所を炎上せしめ其他の戦果は視野不

良の爲確認するに至らず、我方の損害自爆未歸還各一機 (九三二五)

九六九三 米機ハノイを盲爆 在支米空軍は午前五時を主力とする十數機編隊を以て

雲南方面より佛印に侵入内十二機はハノイ市に來襲安南人商店街を盲爆撃し死者三

十名を生じた

(八九六二)

九六九四 米機ドイツ襲撃

米空軍重爆撃機隊は強力なる戦闘機隊の掩護下に午後ベ
ルリン爆撃を企圖したがブルンスウィック東方地區に於て獨戦闘機の邀撃に遭ひ甚
大な損害を蒙りために米空軍はエルベ河以東に侵入し得ず遁走したが獨戦闘機隊は
之を追撃ゾイテル海上に於て空中戦を交へ敵に多大の損害を與へた

英國駐屯米空軍當局發表に依れば右對獨空襲に於て米空軍は爆撃機三十四機戦闘
機二十五機計五十九機を喪失した

獨軍當局の言明に依れば獨防空陣は來襲の^右米空軍を邀撃して其五十六機を撃墜し
た (九六六六)

九六九五 米對スイス謝罪

スイス政府は四月一日の米空軍のスイス領シャフハウゼ
ン市盲爆に關し米國政府から正式の謝罪を接受した旨發表した (九六八一)

九六九六 國籍不明機スイス領空侵犯

スイス政府當局の發表に依れば多數の國籍不
明の飛行機が午前零時一分より十分の間にスイス北部國境領空を侵犯した

(九六九五)

九六九七

イラン及イラク駐屯反樞軸軍司令官任命

元西亞駐屯英軍參謀長大將アー

サー・フランシス Arthur Francis

はイラン及イラク駐屯反樞軸軍司令官に就任

した

(九五六九)

九六九八 開戦以來米海軍の損害 米海軍省は開戦以來米海軍、海兵隊及沿岸防備隊

の損害は次の如く總計四萬三千五百四十名に達する旨發表した

戦死一八、三九七 戦傷一、三四一 行方不明九、三八一 俘虜四、四二一

計 四三、五四〇 (九六〇〇)

九六九九 濠洲陸兵の動員解除 濠洲陸相フォードは今後十二箇月間に九萬名の陸軍

兵士の動員を解除し内七萬名を重要軍需産業に二萬名を農業に振向ける旨發表した

(八〇三九)

九七〇〇 印度英帝國聯邦關係省設置 インド總督ウエーヴェルは今回インド海外省

を英帝國聯邦關係省と改名し從來の海外省の機能に加へインド並に英國各自治領と

の關係を處理する權限を與へられることとなつた旨發表した (八八五一)

四月九日 日曜日

九七〇一 敵機夕ロア島に來襲 午前マロエラツブ環礁夕ロア島に敵機爆連合二十三機

(九六九一)

が來襲所在我部隊は之と交戦撃退した、我方損害なし

九七〇二 獨軍オデツサ撤退 獨軍當局の發表に依れば獨軍は夜オデツサを撤退した

(九五六五)

九七〇三 米機ドイツ北部及東部に來襲 獨總統大本營發表に依れば米空軍爆撃機隊が

ドイツ北部及東部に侵入ポーゼン市を含む數地點を爆撃したが獨防空陣は右激撃戰及
バルチツク海、西部占領地區の戰闘に於て四發爆撃機六十二機を含み七十二機を撃墜
した (九六九四)

九七〇四 開戰以來濠洲軍の損害 濠洲陸相フオードは開戰以來本手三月三十一日迄の

濠洲軍の損害は次の如く六萬八千七百九十七名に達する旨發表した

戰死 一六六五〇 俘虜二六九一五 戰傷 二五二三二 計 六八七九七
(八八四五)

九七〇五 米國務長官放送演説 米國務長官ハルは復活祭に當り外交政策の根本原則を

題し放送演説を行ひ、反極軸側の武力は近く重大な進展を見る段階に迄竭力化した、
其結果ナチスが打倒され混亂が全歐洲に波及した曉吾々は可及的迅速に之を鎮壓して
此所に民主主義政府の樹立に全力を盡さねばならぬ、絶對に必要なことは共同作戦で

各國が各勝手な行動を取つた結果吾々は破壊の一步手前迄押詰められた過去の經驗を二度と繰返へしてはならぬ、戦争に於る勝利を平和に於る勝利へと導くには米英ソ重慶四國間に於る理解と協力が必要で將來の政策は凡て此協力を基礎として樹立さるべきである、吾々は大西洋憲章決定以來モスタワ、カイロ、テヘラン會談を経て來たが此は四國協力の一步一步であつた、然し吾々は斯る會談に於て凡ゆる問題を解決せんとしたものでなく今後も亦同様である、大西洋憲章は其れ自體一個の法典と見るべきものでなく如何に問題を解決するかといふ大體の方針を指示せるもので戦争最中の今日三十件以上に達する國境問題を解決し得ることを考へるのは思ひ違ひである、吾々の根本方針は協力の促進、仲間割の防止で大西洋憲章も此觀點から解決せねばならぬ、吾々の目的はナチズム、ファシズム並に日本の打倒で此打倒が成らざる限り如何なる妥協も排撃する、而し戦争に勝つただけでなく右の危険な思想と組織とを根幹迄破壊し盡さねばならぬ、カイロ會談の申合は今尙有效である、然し吾々は英ソ重慶との協力を促進に依つて此等諸國と政治的又は經濟的祕密條約又は申合をした事實なく今後も亦同様であることを國民に誓約する旨を述べた

九七〇六 歐洲侵攻軍從軍記者任命

リスボン發同盟黨に依れば米英兩朝の新聞記者三百六名が今回歐洲侵攻軍の從軍記者に任命せられた

(九七〇五)

九七〇七 米對土租貸法適用停止

米政府は對トルコ租貸法の適用を停止する旨發表した

(九一六七)

九七〇八 子ロ一將軍教育總監に任命さる

佛解放委員會は同收權元首班子ロ一將軍が

佛軍教育總監に任命された旨發表した

(九六二六)

九七〇九 泰新首都ベチャブーン市を建設
を二十三日同市に於て行ふ旨發表した

泰國政府は新首都ベチャブーン市の定礎式

(八八五五)

四月十日 月曜日

九七一〇 大元帥陛下陸軍航空審査部へ行幸

大元帥陛下には陸軍航空審査部に行幸親しく陸海軍新設航空關係兵器を天覽あらせられた

九七一〇 獨軍タルノボリ東部撤退

獨軍當局は獨軍は四時間に亘る赤軍の砲撃で廢墟

と化したタルノボリ市の東部を撤退した旨言明した

(九七〇二)

九七一〇 米スイスに賠償金支拂ふ

駐スイス米公使リーランド・ハクソンは米空軍の

シヤフハウゼン不法爆撃に對する第一回賠償金一百万弗をスイス政府當局に手交した

(九六九五)

九七一三 米大統領諍養

米白雲館當局は、大統領は最近華府を離れ目下米國南部の某

地で諍養中である旨發表した

(九一四二)

九七一四 米二十六歳以上の一部徴兵延期

米徴兵局長官ハーシエーは農業其他の重要

戰專業務に従事してゐる二十六歳以上の男子に對しては徵兵を延期する旨發表した

(一九六八二)

九七一五 米の上陸用舟艇建造計畫 米戰時生産局長官ネルソンは、米政府は昨年十一月以來一萬隻の上陸用舟艇建造に努力してゐるが歐洲及東亞兩正面の侵攻計畫遂行のため更に建造を一割増加しなければならぬ、現在船員の養成は上陸用舟艇の建造を凌駕してゐる旨言明した

(九五二二)

九七一六 墨大統領狙撃さる メキシコ大統領カマチヨは大統領官邸に於てメキシコ砲兵中尉ラマに狙撃されたが無事で犯人は逮捕せられた

(七九七一)

九七一七 チロ一將軍教育總監就任拒否 チロ一將軍は佛解放委員會主席ド・ゴール將軍に書翰を送り教育總監就任を拒否した

(九七〇八)

四月四日 火曜日

補遺 九七一八 開戦以來の米生産及貿易状況 米商務省は開戦前から現在迄の米國の

生産及貿易状況を次の如く發表した

一、米國の總生産高は一九四二年の一千五百二十億弗から一九四三年には一千八百七十億弗に達したが之には生産數量の増加の外に價格昂騰に因る増加も含まれてゐる

二、工業生産指數 一九四〇年の一二〇から昨年には二五〇に増加したが此増加傾向は最近に至つて鈍化した

三、輸出入總高 (單位百萬弗)

	一九三九年	一九四二年	一九四三年
輸入	二、三〇〇	二、七〇〇	三、四〇〇
輸出	三、二〇〇	八、〇〇〇	一、二、七〇〇
右の内祖貸法に依る輸出高は		四、九〇〇	一〇、〇〇〇 (九、一〇〇)

四月十一日 火曜日

九七一 米機ラバウル及ブーゲンビル島に來襲 十、十一の兩日に亘り敵機戦爆連合
延機數三百五十一機がラバウルに來襲所在我部隊は其五機を撃墜した。我地上損害は
輕微

敵機戦爆十四機が晝間ブーゲンビル島南部地區に來襲したが所在部隊は之を邀撃其
一機を撃墜した、我方損害なし (九六九〇)

九七二〇 米機トラツク島に來襲 敵大型機約二十機が未明トラツク島に來襲我所在部
隊は之を邀撃其二機を撃墜した、地上損害は輕微 (九七〇一)

九七二一 獨軍ロードス島上陸英軍殲滅 獨總統大本營は獨軍がロードス島西岸に上陸
した英軍奇襲部隊を最後の兵迄殲滅した旨發表した (九六一七)

九七二二 獨軍デラーチン市奪還 獨總統大本營はスタニスラフ南方地區に於て獨軍機
甲擲弾兵部隊はハンガリー軍山岳部隊と協力デラーチン市を奪還した旨發表した (九七一)

九七二三 米空軍獨中部及北部に來襲 獨軍當局の言明に依れば獨軍はドイツ中部及北
部に來襲した米空軍を邀撃其百二十六機を撃墜した (九七〇三)

九七二四 赤機ルーマニア襲撃 赤軍航空部隊は夜黒海に面するルーマニアの軍港コン
スタンツァを爆撃した (九六八〇)

九七二五 敵機オーストリア爆撃 地中海方面反樞軸軍司令部發表に依れば反樞軸空軍

重爆撃機が舊オーストリアのウィーネル・ノイエルを爆撃した (九七二四)

九七二六 米副大統領重慶政權訪問決定 リスボン發同盟電に依れば米副大統領ウオ-

レス(五三四〇)は五月又は六月頃米政府を代表して重慶政權を訪問することに決定

した (九六七〇)

九七二七 米英會談開始 米國務次官ステツチニアスは英外相イーデンとの會談終了後

本日の會談では米英兩國外交政策の凡ゆる問題に就て意見の交換が行はれた旨言明し

た (九六八四)

九七二八 米國務次官補歸國 米國務次官ステツチニアスの隨員國務次官補パールは突

如華府に歸着した (九七二七)

九七二九 米土通商交渉決裂 トルコ政府はアンカラで米國トルコ兩國代表間に於て行

はれてゐた通商協定に關する交渉は決裂した旨發表した (九三〇〇)

九七三〇 新西蘭首相オークランド出發 ニュージールランド首相フレージャーは英帝國首

相會談に出席のためオークランド出發空路米國に向つた (八五五五)

九七三一 英ウエールズ南岸を立入制限地區に編入 英陸軍省は南ウエールズの海岸線

一帯プリストル水道沿岸からグロスタシアを経てポーツマスヘッドに至る海岸線一

帯を陸軍省管下の立入制限地區に編入する旨發表した (九四二五)

九七三ニ バドリオ政權チトー政權を承認
ベルリン發同盟電に依れば伊バドリオ政權
はユーゴースラヴィア領内に於るチトー政權を承認し兩政權間に於て現在ユーゴース
ラヴィア領内でチトー軍と共同作戰中のバドリオ軍はチトー指揮下に入り、バドリオ
軍の駐屯する地區はソ聯代表に委讓する趣旨の協定が調印せられた（九六七三）

四月十一日 水曜日

(518)

九七三三 米機ラバウルに來襲 敵戰爆連合延百九十六機が晝間ラバウルに來襲所在我部隊は之と交戰其四機を墜六機を撃破した、我方地上損害輕微 (九七一九)

九七三四 獨空軍ロンドン爆撃 獨空軍は夜ロンドン地區及英本土東南部を爆撃した (九五六二)

九七三五 米英空軍のドイツ爆撃 獨軍當局の言明に依れば米空軍爆撃機隊は正午アル

プス山脈を越えて獨領南部及東南部に侵入したが獨空軍は之をノエシードラー湖地域及アルプス山脈東部方面に於て邀撃し四發爆撃機三十數機を撃墜した

英空軍省發表に依れば英空軍部隊は夜獨北部ハノーヴァー西方のオスナブリュックを爆撃した (九七二三)

九七三六 羅軍二都市奪還 ルーマニア軍司令部は、ルーマニア軍がモルダヴィアのボ

ド・ロエ及タルグル・フルモスの二都市を奪還した旨發表した (九七二二)

九七三七 獨軍ケルチ撤退 獨軍當局は獨軍がクリミア東端のケルチ市から撤退した旨

發表した (九七三六)

九七三八 芬國會ソ聯休戰條件拒否決定 フィンランド國會は二回に亘り開會され滿場

一致を以てソ聯の休戰條件を拒否することに決定した (九四五一)

九七三九 三月中及開戰以來英國の爆撃に因る死傷者數 英内務省は三月中及開戰以來

の爆撃に因る英國の死傷者數を次の如く發表した

三月中の死傷者數

死亡者二百七十九名

負傷者六百三十三名

開戦以來の死傷者數

死亡者四萬九千八百七十六名

負傷者六萬四千名

(九六三九)

(九五二〇)

九七四〇 米國議會開會

米國議會は開會せられた

九七四一 米明年度海軍豫算案下院委員會可決

米下院歳出委員會は總額三百二十六億

四千七百十三萬四千弗の一九四四―四五年度海軍豫算案を可決本會議に回付した

(九五四二)

九七四二 米國務次官駐英ソ聯大使會談

米國務次官ステツチニアスは駐英ソ聯大使グ

(九七二八)

―ゼフを訪問會談した

九七四三 亞の全土守備隊再配置並に黒表會社名發表禁止

アルゼンチン陸軍省は、中

部アルゼンチンのラ・パンパ地方を除き各地方に守備隊を配置し、北西部住民より成

る第七師團を創設して北部及西部に數個守備隊を配置する旨發表した

リスボン發同盟電に依ればアルゼンチン内務省は米英兩國の作製せる樞軸と取引す

(九五五五)

る會社名の黒表を發表することを禁止した

九七四四 伊王隱退言明

イタリ―國王ニマヌエル三世は午後放送演説を行ひ其中に於

て、反樞軸軍のローマ入城と同時に退位して王儲ウムベルトをイタリ―國統監に任命

するに決定した旨を述べた

(九七三二)

(320)

九七四五 ユーゴースラヴィア軍事使節團モスクワ着 ソ聯政府當局の發表に依れば中

將ウエレミール・テルジツチを首班とするユーゴースラヴィア國民解放委員會 (九七

(八四四二)

三二)の軍事使節團がモスクワに到着した

九七四六 シリア米英と國交開始方針 シリア政府は英米兩國と近く國交を開始しロソ

(九五四七)

ドン及華府に公使館を設置する方針である旨發表した

(四七八八)

九七四七 坪上大使入京 坪上駐泰大使は午後東京驛着入京した

九七四八 重臣首相懇談會 重臣の東條首相招待懇談會が正午から華族會館に於て開催

(八五二四)

され東條首相及若槻禮次郎、廣田弘毅、岡田啓介、阿部信行、近衛文磨、米内光政の
六氏及原嘉道氏が出席した

四月十三日 大曜日
米機ラパウルに來襲 敵機百四十機編隊がラパウルに來襲所在部隊は之と交戦

其機を撃墜した
カピエンに敵機來襲 朝ニユーアイランド島カピエンに敵機連合四十七機が來襲
したが所在部隊は之を邀撃其七機を撃墜した。我方損害輕微 (九七三三)

九七五〇 敵機ボナペに來襲 午後ボナペ島に敵機六機が來襲所在部隊は其機を撃墜した。我方被害なし (九七二〇)

九七五二 獨軍タリミア東部撤退 獨軍當局はタリミア半島の獨軍及ルーマニア軍は壓倒的優勢な赤軍の壓迫が增大したため軍命令に由り同半島の東部から過去數箇月間に亘り準備されてゐた新防線線迄後退した旨言明した (九七三七)

九七五三 米空軍ドイツ及ハンガリーに來襲 獨軍當局の言明に依れば米軍航空部隊は獨南露及ハンガリーを爆撃したが獨軍は其四發爆撃機五十四機を含む九十一機を撃墜した (九七三五)

九七五三 米機佛白兩國に來襲 駐英米空軍司令部發表に依れば米空軍マロイダー中型爆撃機隊は朝フランス北部及ベルギーの諸目標就中ナムユールの鐵道を爆撃した (九七二五)

九七五四 開戦以來米陸軍の損害 米陸軍長官スチムソンは開戦以來三月二十三日迄の米